

平成31（令和元）年度

事業年報

はじめに

平素は、公益財団法人滋賀県健康づくり財団の事業の運営に、関係各位のご支援、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

私どもの財団は、昭和 55 年の財団法人滋賀県保健衛生協会としての設立以来、その事業を引き継ぎ、疾病の予防、早期発見および健康の保持増進を図るための必要な事業を行うことにより、県民の健康寿命の延伸への貢献をはじめとした県民の福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施しております。

平成 31（令和元）年度においては、特定健診・特定保健指導について、第 3 期の特定健診等実施計画期間において充実された検査項目や問診項目のプログラムを適切に実施してまいりました。また、滋賀県がん対策推進基本計画を踏まえ、がん検診の受診率の向上に向けた啓発事業をはじめとしたがん対策推進事業、さらに健康づくり事業について、県、市町、関係団体等と連携した取り組みを継続し、実施してまいりました。

さらに、滋賀県公衆衛生学会は、50 回の開催を重ねる記念すべき学会とすることができました。

一方で、新型コロナウイルス感染症が拡大しつつあるなかで、令和 2 年 3 月に予定していた健診（検診）の中止やがん検診従事者講習会などの研修事業が取り止めとなるなどの影響が出ました。新型コロナウイルス感染症の拡大に対しては、引き続き、緊張感をもって必要な対策を実施してまいります。

このたび、平成 31（令和元）年度の当財団の事業の取組みの概要を「事業年報」としてまとめました。ご高覧いただきご意見を賜れば幸甚です。

令和 3 年 2 月

公益財団法人滋賀県健康づくり財団
理 事 長 中 井 清

目 次

はじめに

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業	
(1) 普及啓発事業	1
(2) がん対策推進事業	2
(3) 複十字シール募金運動事業	4
(4) がん検診精度管理事業	6
(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業	8
(6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業	15
(7) 健診（検診）相談事業	16
2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業	
(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業	17
(2) 結核健診事業	26
(3) がん検診事業	30
(4) 検査事業	50
(5) 健診結果分析評価事業	54
(6) 健康づくり事業	54
3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業	
(1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業	57
(2) アイバンク事業	59
(3) 腎臓バンク事業	60
4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業	
(1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業	62
(2) 母子保健関連推進事業	63
(3) 医師会健診データ電子化事業	64
5. その他財団の目的を達成するために必要な事業	
(1) 結核予防会滋賀県支部事業	66
(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業	67
(3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業	67
6. 精度管理	69
7. その他の活動記録	
(1) 沿革	70
(2) 役員会の開催状況	70
(3) 年間行事	72
(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等	74
8. 組織、役員名簿	
(1) 組織	75
(2) 役員名簿	76

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

- (1) 普及啓発事業
- (2) がん対策推進事業
- (3) 複十字シール募金運動事業
- (4) がん検診精度管理事業
- (5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業
- (6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業
- (7) 健診（検診）相談事業

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

(1) 普及啓発事業

県民一人ひとりが健康づくりの知識を深め、自分の健康は自分で守るとの理念の下、疾病の予防、早期発見に役立つ各種健診(検診)の受診率向上を図るため、各種疾病の予防や強調月間等に合わせ、ポスター掲示やリーフレット活用を通じ各市町、関係団体とも連携を図り、県民に対し健康づくりの普及啓発に努めた。

また、不特定多数の県民の方々に広く周知を図るべく、財団ホームページ等を活用して普及啓発に努めるとともに、市町の協力を得て、広報車での健診(検診)受診啓発の巡回放送を実施した。

さらに、当財団が進める事業について、県民の皆さんや関係者に広く周知し、理解を得るため、その概要を「事業年報」として作成し、ホームページに掲載した。

表1 平成31(令和元)年度印刷物等の配布実績

種類		数量	配布先	備考
パンフレット	対がん協会報	650	がん検診検討会各部長、県、市町関係機関等	毎月50部 増刊号50部
	結核の常識2018	5,500	県、保健所、市町、関係機関等	
	複十字誌	1,500	〃	年6回 250部/回
	複十字シール運動 (リーフレット)	10,600	〃	
	健康の輪	100	〃	年3回 100部/回
ポスター	がん征圧月間	150	〃	
	がん予防	150	〃	
	結核予防週間	400	〃	
	禁煙	250	〃	
	複十字シール運動	400	〃	
チラシ	乳がんのセルフチェック	10,200	〃	
	がん検診	1,800	〃	
年報	事業年報	財団ホームページ掲載	〃	

(2) がん対策推進事業

がんについての正しい知識の普及と、がん検診の受診率向上をめざし、次の事業を実施した。

① 滋賀県がん対策推進運動実行委員会事業

実行委員会を組織し、がんについての正しい知識を普及し、がん検診の受診行動を起こすことを目的として、実行委員会の開催および4つのプロジェクトからなるムーブメントレター活動を実施した。

I. 滋賀県がん対策推進運動実行委員会の開催

i 第1回実行委員会

日時 令和元年7月5日(金) 14:00 ~ 16:00
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和元年度滋賀県がん対策推進運動事業について
協賛について、啓発資材の活用について

ii 第2回実行委員会(中止)

日時 令和2年3月2日(月) 14:00 ~ 16:00
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和元年度滋賀県がん対策推進運動事業実施結果について
次年度の活動の方向性について
啓発資材の活用について
委員会作成リーフレットの更新について
財団ホームページ記載のがん検診普及啓発・受診勧奨リーフレットの更新について
(※新型コロナウイルス感染症拡大防止を受け、開催中止となったため、各委員へメールでの報告・意見交換を実施した。)

II. がん検診受診啓発広告プロジェクト

動画や活字での啓発メッセージを発信することにより、がんについての正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的として以下の活動を実施した。

i 啓発動画掲載

期間 令和元年11月 ~ 令和2年3月
場所 J R 草津駅、手原駅構内
方法 デジタルサイネージ

ii 啓発ラジオCMの放送・啓発うちわ作成

期間 令和元年7月~令和元年9月
方法 e-radio20秒CM15本、オリジナルうちわ500本

iii 啓発ノベルティの作成・配布

・昨年作成した「忘れないで！がん検診～健康だからこそ定期的に！～」のメッセージと実行委員会の名入れをした歯ブラシセット1,500個を作成し、以前に作成した啓発ノベルティとあわせて、実行委員会構成団体が実施するイベントや街頭啓発にて配布した。

III. 大切な人へのお手紙プロジェクト

学校支援メニュー「におねっと」への情報掲載や、滋賀県教育委員会主催のがん教育研修会でのチラシ配布等でがん出前講座を周知し、依頼のあった学校12校で当財団の医師

によるがん教育を実施した（参加人数 1,389 名）。

がん教育を受けた児童、生徒には、保護者等に向けてメッセージカードを記載してもらい、がん検診に関するリーフレットと一緒に、実行委員会名入れ封筒に入れて渡して頂いた。メッセージカードは9校に合計1,245枚配布した。

IV. がん検診ススめ隊プロジェクト

5月20日に県庁で開かれた「がん検診担当者会議」にて、市町や団体が実施されるがん対策推進事業に関する啓発活動について情報提供の依頼を行った。

また、がんについて広く周知するための啓発活動として、まんまカフェ主催の下記の講演会を後援するとともに、啓発資材の配布を実施した。

日時 令和元年12月1日(日) 13:30～15:30
場所 安曇川公民館 ふじのきホール
内容 がん啓発フォーラム ～高島市 がんについて考える日～
藤田瞳さんによる講演会
“藤田瞳のキャンサーギフト ～子宮けいがんと共に～”
がん読本、リーフレット、啓発ノベルティ等の配布

参加者数 約90名

V. お知らせプロジェクト

i がん対策活動団体情報交換会の開催

滋賀県内でがん対策についての活動をしている団体同士がつながる機会が大変少ない状況であることから、お互いの活動の推進を図り、滋賀県のがん対策を推進することを目的として、情報交換会を開催した。

日時 令和元年9月3日(金) 10:00～12:00
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 各団体の今年度の事業予定について
がん対策活動団体イベントスケジュールのHP掲載について
令和2年度 滋賀県がん対策団体・民間等自主事業費補助金について

ii がんについての情報提供

・滋賀県がん対策推進運動実行委員会ホームページの運営、啓発動画の掲載の他、県内がん対策活動団体の活動を掲載した。

(URL : <https://kenkou-shiga.securesite.jp/gantaisaku/>)

・リーフレットの配布

がん検診を受ける時に必要な情報を掲載したリーフレットについて、がん教育として実施した「大切な人へのお手紙プロジェクト」で配布した。

配布枚数 1,365部(11校)

②事業所における女性がん検診の推進

女性のがん検診について働く世代の方々に関心を持っていただき、受診につなげることを目的に、平成30年度から開始となった乳がん検診集合契約および既に実施されている子宮頸がん検診集合契約についてのリーフレットを滋賀産業保健総合支援センターにご協力いただいて、4月・5月の衛生管理者・産業医向け研修会にて配布し、利用勧奨を行うとともに集合契約の説明も行った。

③その他の啓発活動

がん対策活動団体とともに、がんについての知識の普及やがん検診受診率向上に向けての活動を実施した。

I. 道の駅 藤樹の里あどがわでのがん啓発活動

日時 令和元年10月1日(火) 8:30 ~ 11:00
場所 道の駅 藤樹の里あどがわ
参加 まんまカフェ、高島市、公益財団法人滋賀県健康づくり財団
内容 啓発リーフレット配布
がん検診受診勧奨

II. リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2019への参加(中止)

日時 令和元年10月12日(土) 12:00 ~ 10月13日(日) 12:00
場所 滋賀医科大学管理棟
内容 無料子宮頸がん検診、無料の乳がん検診
がん検診啓発ブース(がんのクイズ・乳がん自己触診指導・乳がんに関するパネル展示)
リレーウォークの参加
(※台風のため、開催が中止となった。)

III. ピンクリボン湖北主催のがん啓発イベントへの参加

日時 令和元年10月20日(日) 9:00 ~ 16:00、17:30 ~ 21:30
場所 ホテル&リゾート長浜(旧:長浜ロイヤルホテル)
内容 啓発ブース(がん読本、リーフレット、啓発ノベルティ等の配布)

IV. アフラック生命保険株式会社主催のがん教室への参加

日時 令和元年10月25日(土) 10:00 ~ 18:00
10月26日(日) 10:00 ~ 18:00
場所 ビバシティ彦根 センタープラザ
内容 「なるほどなっとく がんを知る教室」
パネル・模型展示(乳がん・肺気腫)
啓発ノベルティ配布

(3) 複十字シール募金運動事業

この運動は、結核・肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患をなくすために世界80か国以上で行っている活動で、100年を超える歴史を持つ由緒ある運動である。結核をなくして健康で明るい社会をつくるために、結核予防にかかる啓発、研究、健診、検査などの資金造成を図ることを目的として、厚生労働省、文部科学省、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の後援を得て、全国的に8月1日から12月31日の期間を中心に実施している。

この運動で募金された資金は、調査研究費、普及啓発費、事業助成費、国際協力費等に使われている。

①結核予防啓発活動

日時 令和元年9月19日(木) 7:30 ~ 8:30
場所 JR石山駅2Fデッキ

内容 「結核予防週間」・「複十字シール運動」ののぼり旗を掲出し、結核予防の啓発と結核予防週間の周知、また、啓発資材の配布に併せて複十字シール運動募金の呼びかけを実施。

実施者数 7名

②全国一斉複十字シール運動キャンペーン

日時 令和元年9月20日(金) 11:00 ~ 13:00

場所 イオンモール草津 1F レストランコート

内容 「結核予防週間」・「複十字シール運動」ののぼり旗を掲出し、結核予防の啓発と結核予防週間の周知、また、啓発資材の配布に併せて複十字シール運動募金の呼びかけを実施。

実施者数 8名

③結核予防事業協賛秩父宮妃記念杯における啓発活動（中止）

日時 令和2年3月10日(火) 10:00 ~ 16:30

場所 びわこ競艇場

内容 結核予防事業協賛によるレースの開催期間中にあわせた結核予防の啓発と複十字シール運動募金活動の実施。

④募金実績額

表1 募金実績額の推移

(円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31 (令和元)年度
募金実績額	1,470,491	1,362,911	1,149,183	997,610	1,022,130

表2 平成31(令和元)年度 募金依頼先別募金実績額

募金資材	募金依頼先	平成31(令和元)年度		
		資材数	実績額	
封筒セット (部)	各市町	3,540	420,148	
	滋賀県	800	74,300	
	滋賀県地域女性団体連合会	1,000	150,000	
	その他	100	10,000	
	小計	5,440	654,448	
大型シール (枚)	郵送募金(個人,会館等)	403	232,300	
	組織募金(医師会)	910	80,000	
	組織募金(歯科医師会)	530	6,000	
	小計	1,843	318,300	
小型シール (枚)	組織募金(薬剤師会)	1,300	15,000	
	複十字誌	77	20,000	
	その他(街頭募金等)	534	14,382	
	小計	1,911	49,382	
合計				1,022,130

(4) がん検診精度管理事業

県民の健康を保持し、がんの早期発見に努めるため、精度の高い検診の実施を目的とした精度管理を行うとともに、検診従事者の育成および資質の向上をはかることにより、県民が安心してがん検診を受けられるよう体制整備を図った。

事業内容は、次の各号に挙げるものとし、平成20年3月31日付け健総発0331012号厚生労働省健康局総務課長通知「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき実施した。

また、マンモグラフィ読影の資質向上のため「乳がん検診マンモグラフィ読影研修会」を開催した。

①がん検診検討会

がん検診検討会の中に、胃がん部会・子宮頸がん部会・乳がん部会・大腸がん部会・肺がん部会の5部会を設置し、各部会の他、5部会の部会長および保健所長との部会長会議を開催した。

I. 部会長会議

日時 令和元年8月6日(火) 17:00～19:00

場所 大津市合同庁舎 3A会議室

参加者数 部会長：5名 保健所長：5名

II. 肺がん部会

日時 令和元年11月14日(木) 16:00～17:30

場所 大津合同庁舎 7D会議室

参加者数 委員9名(委任状2名)、オブザーバー3名、傍聴者24名

III. 乳がん部会

日時 令和元年11月22日(金) 16:00～18:40

場所 大津合同庁舎 7D会議室

参加者数 委員10名(委任状2名)、オブザーバー3名、傍聴者23名

IV. 胃がん部会

日時 令和元年12月17日(火) 17:00～19:00

場所 大津合同庁舎 7B会議室

参加者数 委員10名(委任状1名)、オブザーバー3名、傍聴者18名

V. 子宮頸がん部会

日時 令和2年1月21日(火) 15:00～16:30

場所 大津合同庁舎 7B会議室

参加者数 委員8名(委任状3名)、オブザーバー3名、傍聴者28名

VI. 大腸がん部会

日時 令和2年1月30日(木) 17:00～19:00

場所 大津合同庁舎 7B会議室

参加者数 委員9名(委任状1名)、オブザーバー3名、傍聴者19名

②がん検診従事者講習会

がん検診従事者講習会は、次の内容で実施した。

I. 第1回肺がん検診従事者講習会

日時 令和元年12月14日(土) 14:00～16:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 講演「肺がん検診の胸部単純X線：アスベスト（石綿）による肺・胸膜病変
の復習」
近江八幡市立総合医療センター放射線科部長 松尾寿保 氏
読影演習と解説
滋賀県がん検診検討会肺がん部会 部会長 高橋雅士 氏
近江八幡市立総合医療センター 放射線科部長 松尾寿保 氏
滋賀医科大学放射線医学講座 講師 園田明永 氏

参加者数 41名

II. 子宮頸がん検診従事者講習会

日時 令和2年2月22日(土) 14:00 ~ 17:00
場所 滋賀医科大学付属病院第2会議室
内容 座長 子宮頸がん部会 部会長 高橋健太郎 氏
講演「京都第一赤十字病院におけるLBC検査導入効果」
京都第一赤十字病院 病理病理診断部 久保喜則 氏
ワークショップ「顕微鏡実習」
アドバイザー 滋賀県がん検診検討会
子宮頸がん部会 高橋健太郎 氏
京都第一赤十字病院 病理病理診断部 久保喜則 氏
滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 岩井宗男 氏

参加者数 25名

III. 乳がん検診従事者講習会（中止）

日時 令和2年3月7日(土) 9:30 ~ 12:00
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 話題提供
「乳がん検診に関する最近のトピックス」
症例検討
「検診発見乳がんの症例検討」
地域医療教育研究拠点 独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院
乳腺センター・乳腺外科部長 准教授 医学博士 梅田朋子 氏
(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止)

IV. 第2回肺がん検診従事者講習会（中止）

日時 令和2年3月7日(土) 13:30 ~ 15:10
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 症例検討
「県内市町が行った平成30年度がん検診でのがん発見症例の解析」
滋賀県がん検診検討会肺がん部会 部会長
医療法人友仁会 友仁山崎病院 院長 高橋雅士 氏
(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止)

V. 消化器(胃)がん検診従事者講習会 (中止)

日時 令和2年3月28日(土) 9:30 ~ 12:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

内容 症例検討①

「対策型内視鏡検診で発見された胃がん症例検討」

講師 地方独立行政法人 市立大津市民病院 院長 若林直樹 氏

病例検討②

「胃X線検診において発見された胃がん症例検討」

講師 医療法人社団仁生会 甲南病院 顧問 坂本力 氏

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止)

③乳がん検診マンモグラフィ読影研修会 (中止)

日時 令和2年3月28日(土) 13:30 ~ 15:10

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

内容 症例検討

「県内市町が行った平成30年度対策型乳がん検診でのがん発見症例の解析」

医療法人社団仁生会甲南病院 副院長 田中豊彦 氏

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止)

(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業

本県の公衆衛生に関係する多くの者が一堂に会し、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表することにより、相互に研さんと理解を深め、本県の公衆衛生の向上に資するため、第50回滋賀県公衆衛生学会を令和2年2月22日に開催した。

日時 令和2年2月22日(土) 13:00 ~ 17:00

場所 ピアザ淡海 県民交流センター

研究発表 41 演題

特別講演 健康寿命の延伸を目指して ~地域におけるたばこ対策一実効性を高めるための方策~

講師 公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター
センター長 中村正和 氏

参加者数 191名

①研究発表

表1 第50回滋賀県公衆衛生学会演題発表一覧

○第1会場 座長 宮田陽子 (滋賀県市町保健師協議会)

座長 奥野隆司 (一般社団法人滋賀県作業療法士会、近江温泉病院)

座長 林泰代 (一般社団法人滋賀県歯科衛生士会)

演題番号	演題分類	演題名	所属名
101	母子保健	オートレフラクトメーターを用いた視機能検査を乳幼児健診に導入した現状と課題	東近江市 東近江保健センター、東近江健康福祉事務所
102	母子保健	家庭内における乳児死亡の剖検例について	滋賀医科大学法医学
103	母子保健	母子保健事業の啓発に関する研究 ～第1報～	大津市中すこやか相談所、滋賀県立大学、ふちもと助産院、大津市保健所健康推進課
104	母子保健	新生児全戸訪問事業の取組について	守山市すこやか生活課、守山市健康福祉部
105	母子保健	一般社団法人滋賀県助産師会 子育て・女性健康支援センター事業で取り組んだ思春期出前講座実践報告	一般社団法人滋賀県助産師会
106	成人保健	特定健診 HbA1c6.5 者に関する糖尿病連携医との連携システム～甲賀圏域での5年間の取り組みにおける成果と課題～	甲賀健康福祉事務所、あらまき内科クリニック、公立甲賀病院
107	成人保健	大腸がん検診精密検査受診率の向上に向けた取り組み報告	栗東市健康増進課
108	健康教育・健康づくり	健診センターにおける行動変容アプローチへの検討 ～禁煙ポスター選挙を行って～	JCHO 滋賀病院健康管理センター
109	健康教育・健康づくり	地域の健康意識増進に向けた健康サポート薬局機能について	滋賀県薬剤師会会営薬局

○第2会場 座長 中村由紀子（滋賀県保健所長会、大津市保健所）

座長 坂之上佐和子（一般社団法人滋賀県薬剤師会）

座長 松田哲明（公益社団法人滋賀県臨床検査技師会、大津赤十字病院）

演題番号	演題分類	演題名	所属名
201	環境保健	滋賀県における有害大気汚染物質調査結果について	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
202	環境保健	環境 RNA 分析を用いたカビ臭原因物質（2-MIB）合成酵素遺伝子の発現検出	株式会社日吉
203	環境保健	バスタ液剤を用いたオオパナミズキンバイ駆除手法の検討	株式会社日吉
204	生活衛生	大津市地域猫活動支援事業の経過報告	大津市動物愛護センター
205	生活衛生	レジオネラ属菌およびアメーバに対する消毒剤の開発	株式会社日吉

206	学校保健	教育現場における血液媒介性感染症の予防に対する意識調査 —教諭種別での意識の特徴—	びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科
207	食品衛生	食品加工業のリスク評価事例	一般財団法人滋賀保健研究センター
208	臨床検査	肝炎ウイルス検査の精度向上への取り組み	公益社団法人滋賀県臨床検査技師会 精度管理血清部門
209	臨床検査	巡回健診における安心安全な採血業務への取り組みと採血合併症について	一般社団法人近畿健康管理センター滋賀事業部

○第3会場 座長 大西啓之（一般社団法人滋賀県歯科医師会）

演題番号	演題分類	演題名	所属名
301	地域保健・福祉	大津市における在宅医療連携拠点整備 ～拠点訪問看護ステーションの活動状況～	大津市保健所
302	精神保健福祉	強迫性障害により6年間ひきこもったケース対応についての一考察	滋賀県湖北健康福祉事務所長浜保健所
303	難病	災害時の難病対策の課題について ～気管切開下で24時間人工呼吸を装着している在宅難病患者の個別計画策定の取組から～	滋賀県草津保健所
304	高齢者保健福祉	湖東圏域におけるアドバンスケアプランニングの普及啓発について	湖東健康福祉事務所、湖東圏域 ACP プロジェクトメンバー
305	その他	大津市子ども発達相談センター来所児調査～H22年度出生児を中心に～	大津市保健所子ども発達相談センター

○第4会場 座長 小川薫子（公益社団法人滋賀県看護協会、草津市役所）

座長 柴田健治（公益社団法人滋賀県理学療法士会、大津赤十字病院）

座長 嶋村清志（滋賀県公衆衛生学会副学会長）

演題番号	演題分類	演題名	所属名
401	精神保健福祉	東近江圏域におけるひきこもり支援の現状と課題～支援の充実に向けて～	東近江健康福祉事務所
402	精神保健福祉	東近江圏域における精神科病院への長期入院患者の現状と退院支援の課題について	東近江保健所
403	精神保健福祉	大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業について（第6報）～地域における継続支援の振り返り～	大津市保健所
404	精神保健福祉	大津市認知症初期集中支援チーム（チームスマイルおおつ）の取り組みの効果と課題	大津市長寿政策課、瀬田川病院、琵琶湖病院
405	難病	難病支援における災害対策の取り組み ～支援者向け研修会における自助・共助の必要性の啓発～	大津市保健所保健所

406	難病	難病レスパイト入院事前登録システムについて	甲賀保健所
407	歯科保健	働き盛り世代における年代や定期的歯科健診受診による歯科保健行動等の違い～働き盛り世代の歯科保健実態調査より～	滋賀県南部健康福祉事務所
408	栄養	地域栄養ケア活動の取り組み～住み慣れた地域で生涯元気に暮らせるために～	(公社)滋賀県栄養士会
409	その他	大規模災害時の医薬品等供給に関する滋賀県薬剤師会の取組みについて	一般社団法人滋賀県薬剤師会

- 第5会場 座長 吉村明浩（一般社団法人滋賀県介護福祉士会、草津総合病院）
座長 仁木純司（公益社団法人滋賀県放射線技師会、草津総合病院）
座長 堀出直樹（一般社団法人滋賀県医師会）

演題番号	演題分類	演題名	所属名
501	高齢者保健 福祉	従前相当サービスの見直しの取り組み結果について～介護予防の取り組み～	近江八幡市長寿福祉課
502	高齢者保健 福祉	当院の在宅診療科の取り組み	彦根市立病院、彦根保健所、滋賀県健康医療福祉部
503	高齢者保健 福祉	地域におけるアドバンス・ケア・プランニング普及への取り組み	草津市長寿いきがい課、草津栗東医師会
504	高齢者保健 福祉	高齢者虐待の防止と対応のあり方について	草津市長寿いきがい課
505	地域保健・ 福祉	地域に責任を持つ保健活動に関する竜王町の保健師の意識の変化とその影響要因について	竜王町福祉課、竜王町健康推進課
506	地域保健・ 福祉	当会の「禁煙支援薬剤師」認定制度と出前講座の活動状況について	一般社団法人滋賀県薬剤師会
507	地域保健・ 福祉	ソーシャル・キャピタルの醸成における保健師の役割について～A町の健康づくりの取り組みを通じて～	草津市健康福祉部地域保健課
508	高齢者保健 福祉	独居高齢者の在宅看取りを支えるためには何が必要か	医療法人滋賀勤労者保健会ぜぜ診療所
509	高齢者保健 福祉	地域連携室が退院に当たって悩んでいること	医療生協こうせい駅前診療所

表2 第50回滋賀県公衆衛生学会演題分類別演題一覧

演題分類	演題数	演題分類	演題数
地域保健・福祉	4	臨床検査	2
栄養	1	食品衛生	1
母子保健	5	環境保健	3
歯科保健	1	学校保健	1
高齢者保健福祉	7	健康教育・健康づくり	2
精神保健福祉	5	成人保健	2
生活衛生	2	難病	3
		その他	2
合 計			41

②公衆衛生事業功労者表彰

多年にわたり公衆衛生事業に取り組み、地域住民の保健衛生活動や保健衛生知識の普及活動等に尽力され、健康づくりに多大な功労のあった個人と団体を滋賀県公衆衛生学会の席上において表彰した。

受賞者 知事表彰 (個人) 麻生伸一 氏 ほか6名
(団体) 一般社団法人八幡蒲生薬剤師会
理事長表彰 (個人) 金田成煥 氏 ほか13名
(団体) 滋賀県在宅保健師の会「湖都の会」、甲良町健康推進員協議会

表3 令和元年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧（知事表彰）

(個人)

(敬称省略・五十音順)

氏名	職種	表彰事由
麻生伸一	医師	長年にわたり、勤務医、開業医として地域住民の健康管理に努めてこられた。とりわけ、健康スポーツ医の専門家として、豊富な経験と幅広い知見に基づき、青少年から高齢者までのスポーツ愛好者に対する運動指導等を行い、スポーツを通じた健康増進の普及に貢献された。 また、整形外科医の立場から、滋賀県立リハビリテーションセンター総合リハビリテーション推進会議の委員としても活躍されている。
大本和由	臨床検査技師	昭和63年から医療法人医誠会の系列4病院、済生会滋賀県病院、済生会守山市民病院に勤務され、31年余りにわたって、各病院において積極的に病院運営や臨床検査の充実に努められ、地域住民の健康保持・増進や公衆衛生の発展に貢献された。 また、平成24年から平成28年まで公益社団法人滋賀県臨床検査技師会副会長として、県民の健康維持、増進に尽力された。平成30年6月からは、再度副会長に就任され、県民、市民への健康増進、疾病予防推進への取組を積極的に行われている。
川上浩稔	浄化槽検査員	昭和59年から35年余りにわたり、社団法人滋賀県浄化槽協会（平成25年4月から現在の公益社団法人滋賀県生活環境事業協会に改称）の検査員として浄化槽の法定検査業務を推進するとともに、豊富な知識と経験に基づいて、浄化槽の適正管理の普及啓発等にも尽力された。浄化槽一筋に精励され、公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上に貢献された。
神田雄史	医師	長年にわたり医師として疾病予防等の公衆衛生の進展に尽力するとともに、地域完結型の医療推進のために地域の診療所等との連携強化に積極的に取り組まれるなど、地域医療の発展に大きく貢献された。 市立長浜病院においては診療局長、副院長、院長を歴任され、若手医師の指導・育成にも尽力された。また、長年にわたって湖北医師会の理事を務められ、地域医療の発展に貢献された。

桜井孝徳	歯科医師	昭和58年8月に桜井歯科医院を開設以来、今日まで歯科医業に専念し、地域歯科医療の発展および公衆衛生事業の推進に努められた。 この間、滋賀県歯科医師会理事・常務理事・専務理事、同彦根支部理事・専務理事等多くの要職に就き、公衆衛生事業の推進に尽力するとともに県民の健康な歯の保持増進および歯科保健水準の向上ならびに口腔衛生思想の普及啓発に貢献された。
田川剛	柔道整復師	昭和57年5月より「五市接骨院」に勤務された後、同接骨院を継承され、37年を超える長きにわたって柔道整復術による地域住民の健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に貢献された。 また、平成11年から4年間、滋賀県柔道整復師会の理事を務められ、広報担当理事として同会の活動をアピールするとともに、柔道整復師の重要性を訴え、業界の充実強化に大きく寄与された。
米長百合子	健康推進員	長年にわたり、地域の健康づくりのリーダーとして、市民の食生活改善をはじめ健康づくり活動に積極的に取り組まれ、市民の健康意識の向上に寄与された。 また、平成14年から6年間大津市健康推進連絡協議会会長・滋賀県健康推進団体連絡協議会理事として同会の組織強化や運営に尽力、関係機関や関係団体等と連携を密にし、常に会の充実にも努められた。 現在も地域と行政のパイプ役として、地域に根付いた健康推進員活動を実践され、後輩の育成や指導に取り組まれている。

(団体)

団体名	表彰事由
一般社団法人 八幡蒲生薬剤師会	東近江医療圏において医療に従事する多職種が一堂に会し、各種の医療連携パスの充実を図るための研修や事例検討を実施する「三方よし事業」の重要な構成団体として、地域住民や行政、医療・介護スタッフと“顔の見える関係”を構築し、患者・利用者に適切なケアを提供する仕組みづくりに尽力された。また、一般市民向けにはケーブルテレビを通じて、医薬品適正使用、薬事衛生および家庭の残薬に関するテーマで番組を作成するなど、公衆衛生の意識向上に貢献された。

表 4 令和元年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧（公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰）

(個人)

(敬称省略・五十音順)

氏名	職種	表彰事由
金田成煥	歯科医師	昭和59年10月から、かねだ歯科医院を開設以来今日まで歯科医業に専念し、地域歯科医療の発展及び公衆衛生事業の推進に努められた。 この間、滋賀県歯科医師会理事、同湖南支部理事・副支部長、草津栗東守山野洲歯科医師会会長等多くの要職に就き、公衆衛生事業の推進に尽力するとともに、県民の健康な歯の保持増進及び歯科保健水準の向上並びに口腔衛生思想の普及啓発に貢献されている。
木下昌昭	診療放射線技師	甲賀地域における診療放射線技師として、永年にわたり医療の場を基に胃がん検診等の診療活動を積極的に続け、胃がんの早期発見に努め地域住民の公衆衛生の普及に貢献された。 また、医療放射線被ばくに関して、放射線に関する知識、検査に関する普及、啓発活動と、その低減に向け専門的な立場で努力し、放射線の有効利用を推進するなど公衆衛生の向上に多大なる貢献を残されている。
酒井英志	理学療法士	勤務先では、脳血管疾患、運動器疾患患者のリハビリテーション治療を実施し、また介護予防や地域住民の健康づくりを行政とともに実践されている。成人だけでなく肢体不自由、発達障害の小児のリハビリテーションに関わり、就園・就学の支援も行われている。 また、平成16年から現公益社団法人滋賀県理学療法士会の理事として活動され、様々な疾病に対する予防、健康づくり、高齢者の介護予防など理学療法士会が主催事業だけでなく、県内の多くのイベントにて幼児から高齢者まで幅広く指導や相談を実施されている。
田中みどり	保健師	これまで、常に国の動きを見つつ、市民が健康を維持増進するために必要なことを考え、施策や事業に取り組んでこられた。湖南圏域では人口規模も大きい市であり常に先駆的に施策に取り組んでこられ、所属内ではもちろん、圏域内でもリーダーシップを発揮し牽引されてきた。 希望日時に希望する医療機関で健診が受診できるように、基本健康診査の個別健診開始に向け、整備が行われた。また、子どもにかかりつけ医を持つ意味からも、4か月健診を医療機関委託方式による個別健診で実施できるよう体制整備が行われた。
田村雅裕	柔道整復師	昭和55年4月に柔道整復師免許を取得以来39年にわたり柔道整復師の施術治療を基本に機能回復訓練指導も含め、地域住民の健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に尽力されている。 平成13年4月から平成17年3月まで社団法人滋賀県柔道整復師会の理事を2期4年にわたり務め、事業部長として公益事業である救護トレーナー活動を指揮し、公益社団法人取得の礎を築かれた。

西村精児	臨床検査技師	近江八幡市立総合医療センター（旧近江八幡市民病院）において臨床検査業務に従事し、検体検査に携わり検査技術や精度管理の向上を図られてきた。輸血管理部門において製剤の管理、輸血療法委員会の事務局を務め、安全で適正な輸血医療の実践を行ってこられ、この間、輸血検査技術の向上や後進の指導も行われてきた。また、情報管理部門において検体検査システムおよび電子カルテシステムの構築に尽力されてきた。公益社団法人滋賀県臨床検査技師会において平成7年から血液検査、輸血・移植検査分野の委員として研修会を企画し、後進の指導に当たってこられた。平成24年6月より理事に就任し、会計部長を担当し、公益法人の適正な運営に尽力された。
橋本俊孝	鍼灸師	一般社団法人滋賀県鍼灸師会の理事を多年に於いて勤め、様々な役職を務めて、公衆衛生事業に貢献されてきた。滋賀県健康祭りや各種スポーツ大会にボランティアとして積極的に参加され、スポーツ選手のコンディション管理や地域住民の健康管理に貢献されてきた。また、滋賀県鍼灸師会の保険部審査委員・療養費指導講習会について保険者の療養費請求手続きが円滑かつ適正に運用されるように尽力し、患者の利便性を高め、患者が鍼灸治療を受診しやすくなるよう尽力されてきた。
畑中芳枝	健康推進員	永年にわたり、地域の健康づくりのリーダーとして、町民の食生活改善をはじめ健康づくり活動に積極的に取り組み、町民の健康意識の向上に寄与された。前身団体の食生活改善推進員および母子保健推進員の頃より地域や地元の関係機関・関係団体等と連携を密にし、常に会の充実に努められた。また、現在も、地域に根付いた健康推進員活動を実践し、後輩の育成や指導に取り組まれている。
服部政憲	医師	平成9年より、滋賀県心臓検診検討会（昭和41年より実施）において、20年以上尽力されている。学校での突然死事故防止に向け、心電図検査の読影やその後の精密検査結果を査読されている。また、学校医や学校の養護教諭向けに心臓疾患の管理基準について毎年見直しをおこない、「児童生徒の心臓疾患の管理」の編集委員も務められている。
平尾勝代	保健師	永年にわたり、保健師として地域住民の健康づくりなど保健衛生全般及び介護予防活動、在宅医療の推進において尽力されてきた。合併以前には、主に生活習慣病予防のリーダーとして活動をし、介護保険制度が始まってからは、介護保険事業及び介護予防などの事業にも努められてきた。甲賀市として合併後は、保健センターで健康づくりのリーダーとして活躍され、地域包括支援センターの立ち上げ、その後は、高齢者を対象とした長寿福祉課で介護予防に関する取り組み、在宅医療の部署では在宅医療モデル事業などを手がけ、保健師の人材育成においては統括保健師として人材育成にご尽力をいただいた。
福田正悟	医師	永年にわたり病院勤務医また開業医として、地域住民の疾病予防と健康管理に努められるとともに、高齢化社会における在宅医療の推進に尽力し地域の医療資源を有効活用した医療と介護の連携体制づくりに貢献され、保健、医療、福祉の充実に献身的な努力を続けられてきた。
伏木雅人	医師	医師として長年にわたり、疾病予防等の公衆衛生の進展に尽力され、地域医療の発展に多大な貢献をしてこられた。市長長浜病院診療局理事、放射線科責任部長及びがん対策推進室監視監に着任され、若手医師の指導、育成にも尽力された。
前田寿美	助産師	総合周産期医療センターでの助産師経験をもとに助産師教育や母子訪問などを行ってこられた。また、滋賀県助産師会における活動では、子育て・女性健康支援センター事業である電話相談・訪問出張、思春期・性教育等の講師として携わるとともに、市町における母子保健事業に対し助言を行うなど、母子保健事業に対し真摯な態度で積極的に関わってこられた。平成18年から滋賀県助産師会及び子育て・女性健康支援センターの書記・会計として関わっていただき経営面での当会の企画・運営に尽力された。後輩育成に関しては、会員助産師に向けて地域における助産師の役割や子育て女性・健康支援センターの役割を伝え、また、定期的に助産師の技術アップにつながる研修テーマを決めて勉強会を開催し、講義を担当するなど助産師同士が学びあい高めあう環境づくりを心掛けられている。助産師として施設及び地域と幅広い活動は誠意をもって取り組まれてきており地域の母子の信頼も厚い。
松尾信子	薬剤師	永年、薬局業務に精励し薬局の管理について常に細心の注意を払い薬剤師の使命である健康管理の良き指導者であることを信条として献身的な努力をされてきた。また、地域住民の良き相談相手となり、健康的な生活を送るための身近なアドバイザーとして貢献し、地域住民から信望を得られている。平成18年5月から現在まで、滋賀県薬剤師会の理事、常務理事として会員に対し、行政機関の指導事項の周知徹底を行い、薬事衛生の普及向上に寄与されている。平成18年5月に本会女性薬剤師部委員に就任して以来、現在まで13年の長きに亘り、薬学教育委員会、学術情報委員会の委員、委員長を歴任し、薬剤師と薬局をめぐる多岐にわたる課題を敏感に把握し対応に取り組んでいる。特に、次世代の薬剤師を育成する面において薬学生の受け入れや薬学教育に貢献し、次世代を担う若手薬剤師と現場をつなぐ橋渡しに寄与された。

(団体)

団体名	事業継続年数	代表者名	表彰事由
滋賀県在宅保健師の会「湖都の会」	21年	会長 甲斐恵子	「地域における保健事業の重要性を認識し、豊かな経験と実績を基に、今後のマンパワー対策や保健活動に寄与する」ことを会則に掲げ、“生涯現役の想いを集めて地域の健康づくり”をキャッチフレーズに、活動を継続展開されている。 地域住民の健康づくりに専門性を発揮するために、滋賀県国民健康保険団体連合会と共同実施し、これまでに県内35カ所において健康相談を実施してきた。また、重複・頻回受診者等訪問事業や特定健診等受診率向上対策事業等にも協力し対象者宅を個別訪問し各人に応じた支援を実施されている。
甲良町健康推進員協議会	32年	会長 山本多恵子	長年にわたり、地域の健康づくりのリーダーとして、区や町と連携のもと、食の改善や運動の普及、健康診査や各種検診の受診勧奨の活動により、子どもから高齢者までの幅広い年代の健康づくりに大いに貢献されている。 高齢者の教室や区の行事で住民にわかりやすい減塩啓発活動を行うほか、小学校の児童、保護者に対して野菜摂取の重要性についても啓発を行っており、減塩や野菜摂取の重要性が地域全体に普及する一助となっている。

※事業継続年数は、R2.2.22現在

③第49回滋賀県公衆衛生学会奨励賞表彰

本県の公衆衛生の向上に資することを目的として、意欲的・先駆的かつ継続的に取り組んでいる調査研究を奨励し、滋賀県公衆衛生学会の席上において表彰した。

受賞者 ○演題分類 感染症

演題名 保育所における感染症対策 ～各保育所への指導の振り返り～

研究発表者 西川幸恵、山本遥、安藤知穂、大泉聡志、片山克子

鳴海千秋、中村由紀子（大津市保健所）、佐野実生（幼児政策課）

○演題分類 地域リハビリテーション

演題名 高島市リハビリ連携協議会の取り組み

地域リハビリテーション人材育成研修を終えて

研究発表者 川島直之（リハビリデイサービスひまわり）

(6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業

保健指導初任者に対する基礎研修ならびに保健指導実施者に対する応用研修を実施することで、生活習慣病対策全体を効果的に推進できる人材を養成し、また、「標準的な特定健康診査・保健指導プログラム（改訂版）」に示された保健指導を適切かつ効率的に実施できることを目的に研修を実施した。

【1日目】

日時 令和元年7月25日(木) 10:00～17:00

場所 草津市民交流プラザ 大会議室

参加者数 午前：基礎編 54名

(管理栄養士21名、保健師29名、看護師3名、事務職1名)

午後：基礎編・応用編共通 69名

(管理栄養士33名、保健師32名、看護師3名、事務職1名)

【2日目】

日時 令和元年8月19日(月) 10:00～17:00

場所 ピアザ淡海 大会議室

参加者数 午前：基礎編・応用編共通 73名
(管理栄養士35名、保健師35名、看護師3名)
午後：基礎編 51名
(管理栄養士20名、保健師28名、看護師3名)

【3日目】

日時 令和元年8月28日(水) 10:00～16:40
場所 ピアザ淡海 207会議室
参加者数 基礎編：53名(管理栄養士23名、保健師27名、看護師3名)

【4日目】

日時 令和元年8月29日(木) 10:00～17:00
場所 コラボしが21 中会議室1
参加者数 応用編：30名(管理栄養士22名、保健師7名、看護師1名)
・4日間を通じての実参加者数
86名(管理栄養士44名、保健師38名、看護師3名、事務職1名)
・修了者数
55名(基礎編：39名、応用編：16名)

(7) 健診(検診)相談事業

コメディカルスタッフによる健診(検診)の受診等に関する疑問や相談、さらには検査結果等を踏まえた対応など受診者の適切な判断や不安等の解消のため、受診者に分かりやすく説明する相談窓口を設置し、電話対応を行った。

電話番号	077-536-5218(平日9:00～17:00)	
電話対応件数	18件	
内訳	健診(検診)の受診に関すること	4件
	健診(検診)受診の結果に関すること	9件
	健診(検診)受診後の症状に関すること	1件
	疾病に関すること	2件
	その他	2件

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

- (1) 特定健診・特定保健指導事業
- (2) 結核健診事業
- (3) がん検診事業
- (4) 検査事業
- (5) 健診結果分析評価事業
- (6) 健康づくり事業

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業

県民の疾病予防と健康づくりのため、巡回健診や特定健診を市町・保険組合や保険者の依頼に応じて実施した。

また、特定健診結果から生活習慣病（特に内臓脂肪症候群）のリスクが高く、生活習慣の改善により高い予防効果が期待できる受診者に対して、動機づけ支援や積極的支援などの保健指導を通じ、生活習慣を見直すサポートを実施した。

①一般健診事業

健康増進法、健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、感染症法、学校保健安全法、労働安全衛生法、共済組合法等に基づき、市町や事業所が実施する健診を受託し、県民の疾病の発見、予防に資する保健サービスを提供した。

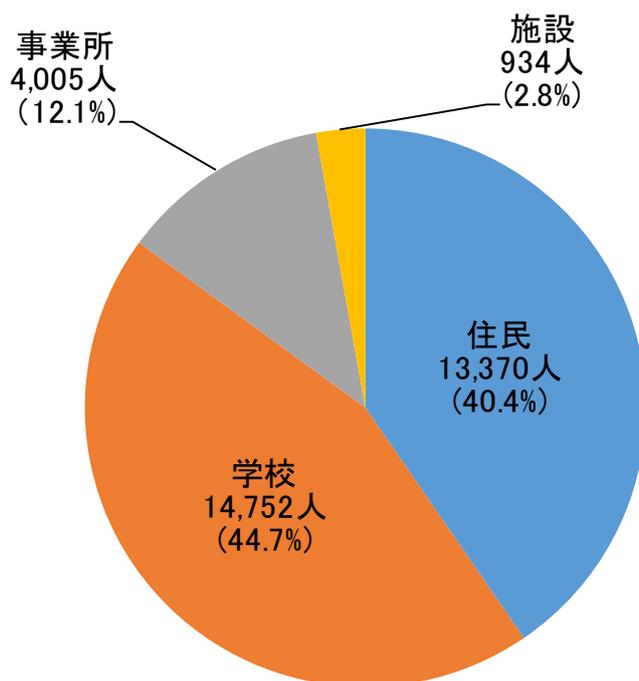
平成 31（令和元）年度一般健診実績者数は 33,061 人であり、前年度実績者数と比べ 3,950 人の増であった。

また、そのうち特定健診受診者が 10,471 人、後期高齢者健診受診者が 1,342 人であった。（但し、肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者を除く）

表1 一般健診実績表(特定検診・定期検診等含む) 実施状況(団体別)
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者数除く

団体区分	一般健診		特定健診(再掲)		後期高齢(再掲)	
	団体数	実施人数	団体数	実施人数	団体数	実施人数
住民	11	13,370	9	9,555	6	1,342
学校	118	14,752	0	0	0	0
事業所	120	4,005	2	916	0	0
施設	16	934	0	0	0	0
合計	265	33,061	11	10,471	6	1,342

図1 一般健診(特定健診・定期健診等含む) 実施状況(団体区分別)



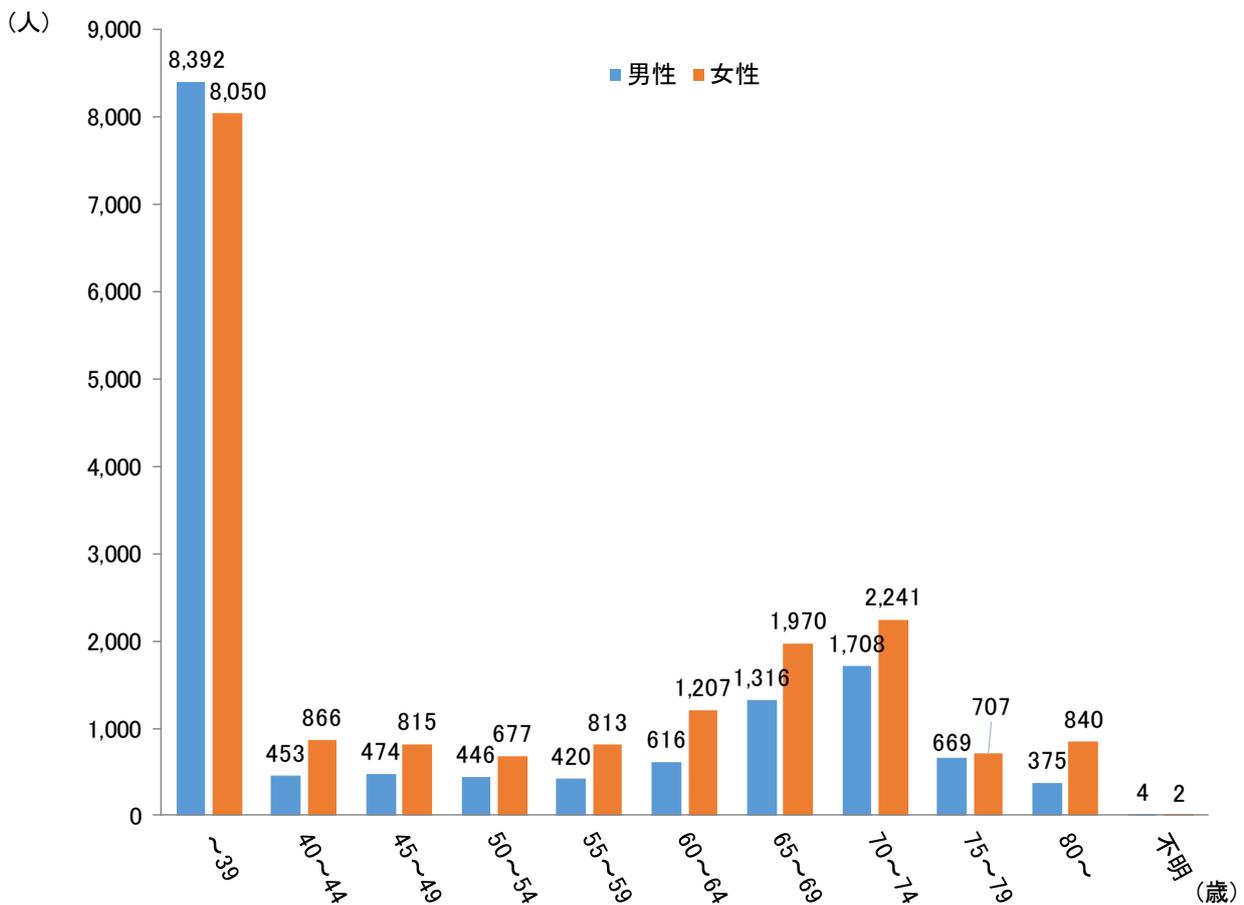
265団体33,061人に実施。うち、特定健診は11団体10,471人、後期高齢は6団体1,342人であった。

表2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、年齢性別不明を除く

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	不明	合計
男性	8,392	453	474	446	420	616	1,316	1,708	669	375	4	14,873
女性	8,050	866	815	677	813	1,207	1,970	2,241	707	840	2	18,188
合計	16,442	1,319	1,289	1,123	1,233	1,823	3,286	3,949	1,376	1,215	6	33,061

図2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）



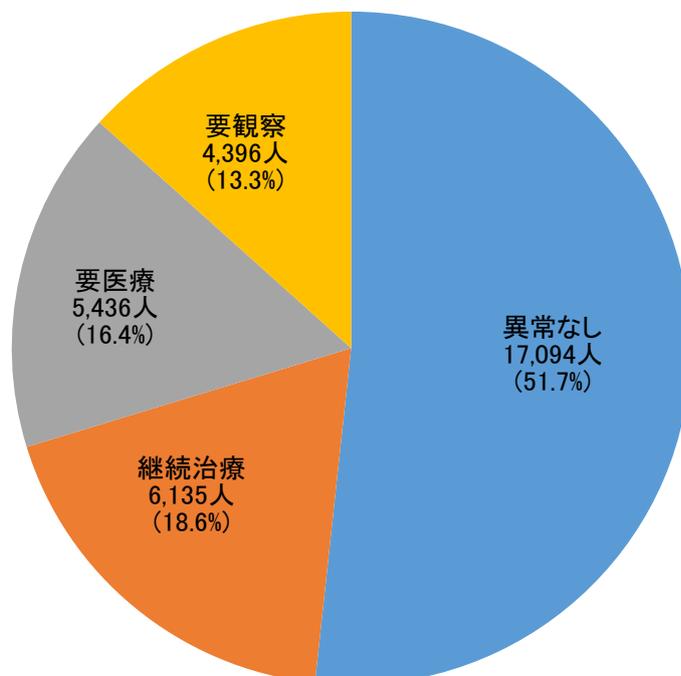
性別では女性が男性より多く、年齢別では男女ともに39歳以下、70～74歳、65～69歳の順に多かった。

表3 一般健診実績表(特定健診・後期高齢・定期健診等含む)実施状況(団体・指導区分別)
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、指導区分不明を除く

(人)

市町名、事業所名		受診者数	指導区分			
			異常なし	継続治療	要医療	要観察
市町		13,370	1,457	5,371	3,743	2,799
内訳	草津市	15	2	5	6	2
	日野町	981	77	364	275	265
	竜王町	667	113	231	178	145
	彦根市	2,669	261	1,058	758	592
	豊郷町	470	37	224	140	69
	甲良町	903	170	311	261	161
	多賀町	343	77	148	60	58
	東近江市	4,523	450	1,909	1,354	810
	米原市	2,799	270	1,121	710	698
事業所等		19,691	15,637	764	1,693	1,597
総数		33,061	17,094	6,135	5,436	4,396

図3 一般健診(特定健診・定期健診等含む)実施状況(指導区分別)

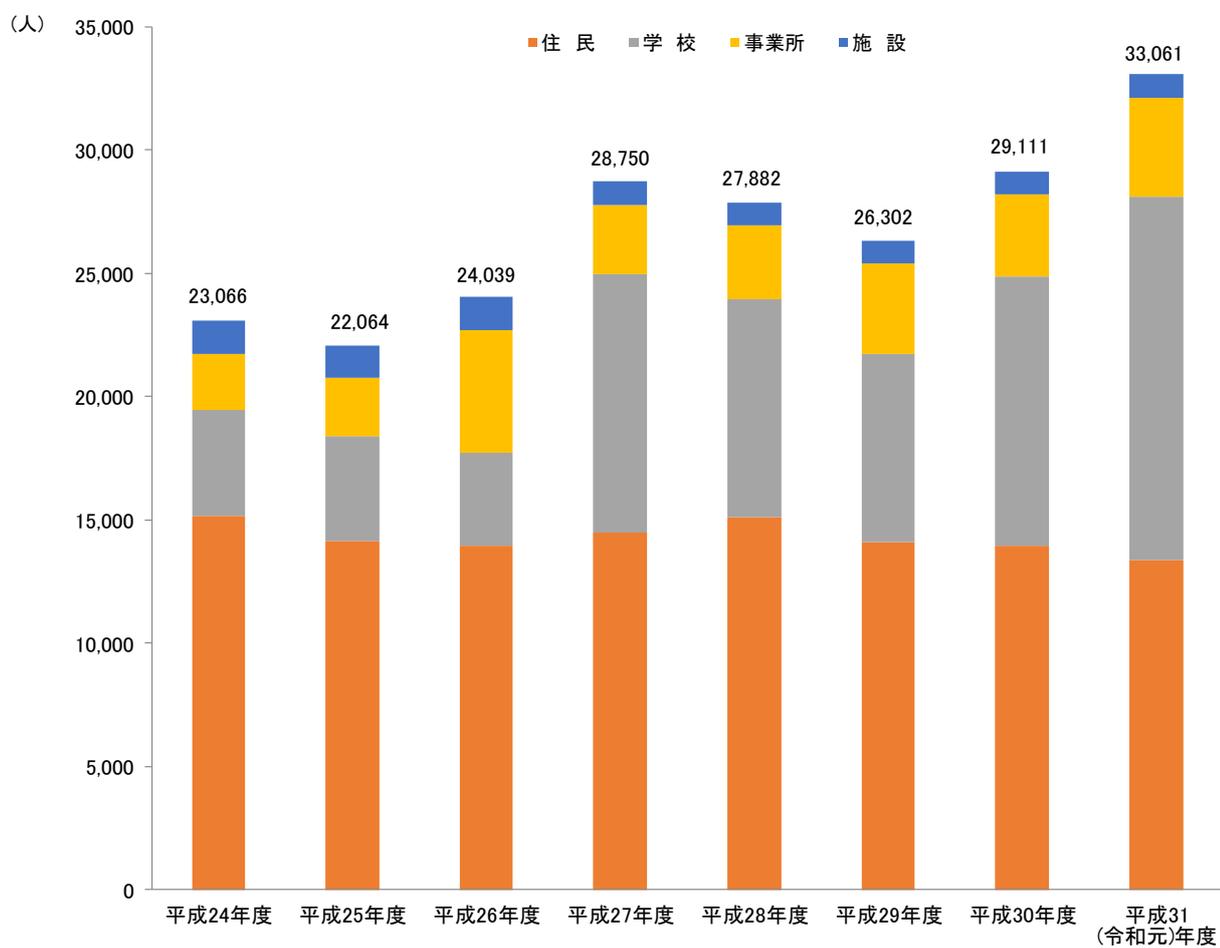


受診総数33,063人のうち、要医療(要受診)と要観察で約3分の1を占めている。

表4 一般健診実施状況の経年比較

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	15,147	7	14,122	6	13,956	8	14,487	10	15,093	9	14,077	12	13,926	10	13,370	11
学 校	4,287	5	4,278	5	3,739	5	10,475	26	8,837	26	7,636	28	10,934	83	14,752	118
事 業 所	2,272	95	2,383	102	5,017	102	2,808	93	2,996	97	3,708	111	3,332	86	4,005	120
施 設	1,360	22	1,281	20	1,327	20	980	16	956	16	881	15	919	16	934	16
合計	23,066	129	22,064	133	24,039	135	28,750	145	27,882	148	26,302	166	29,111	195	33,061	265

図4 一般健診実施状況の経年比較



受診者数は、その年々によって増減はあるものの、徐々に増加してきている。

また、平成31（令和元）年度は、学校の健診が増え、団体別で一番多い受診者数となっている。

②施設内健診事業

県民の健康づくりの一助となることを目的として、財団施設内において、全国健康保険協会に基づく生活習慣病予防健診、高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく特定健康診査および特定保健指導、労働安全衛生法に基づく健康診断・検査を実施した。

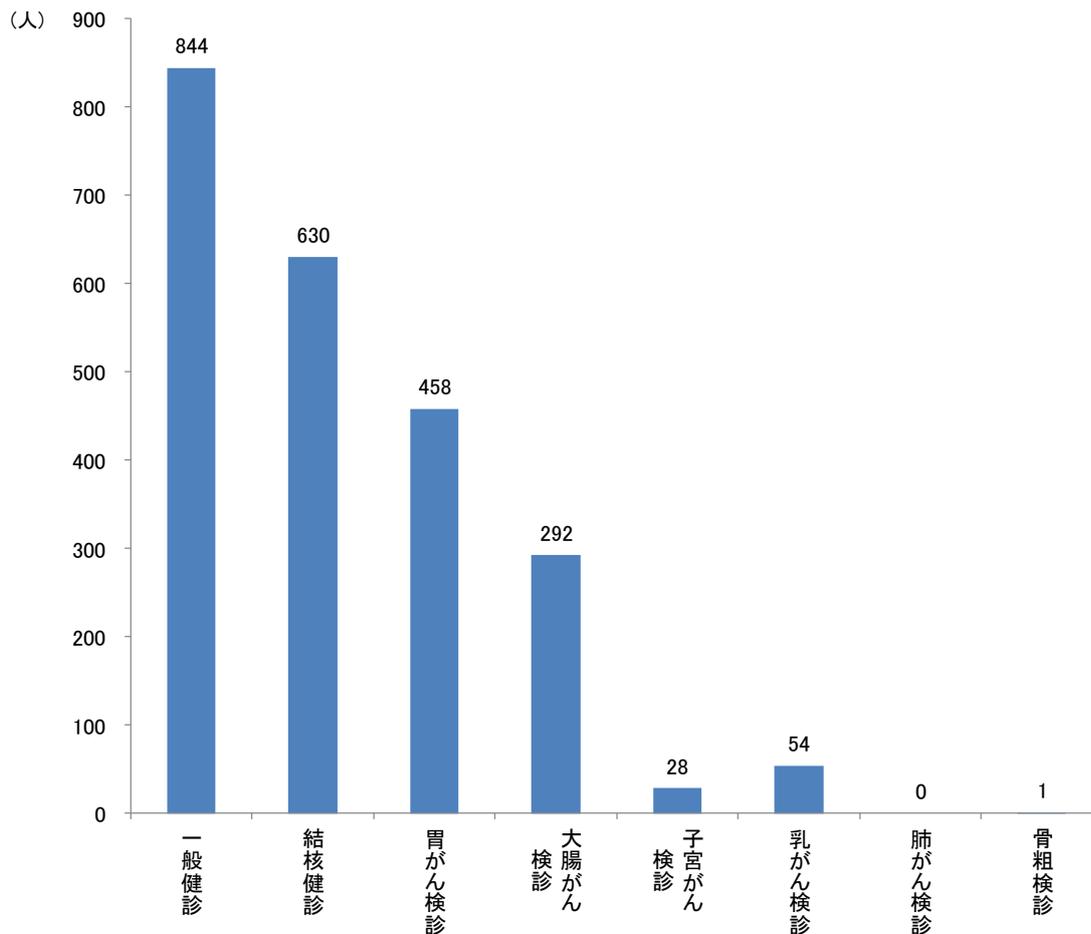
既存の健診メニューに加え、腫瘍マーカー等の血液検査を追加実施するとともに、女性がん検診日を設け、検診を実施した。

平成 31（令和元）年度施設内健診実績者数は 844 人であった。

表 1 施設内健診実施状況（検診別内訳）（再掲）

項目	一般健診	結核健診	胃がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	肺がん検診	骨粗検診
受診人数	844	630	458	292	28	54	0	1

図 1 施設内健診実施状況（検診別内訳）

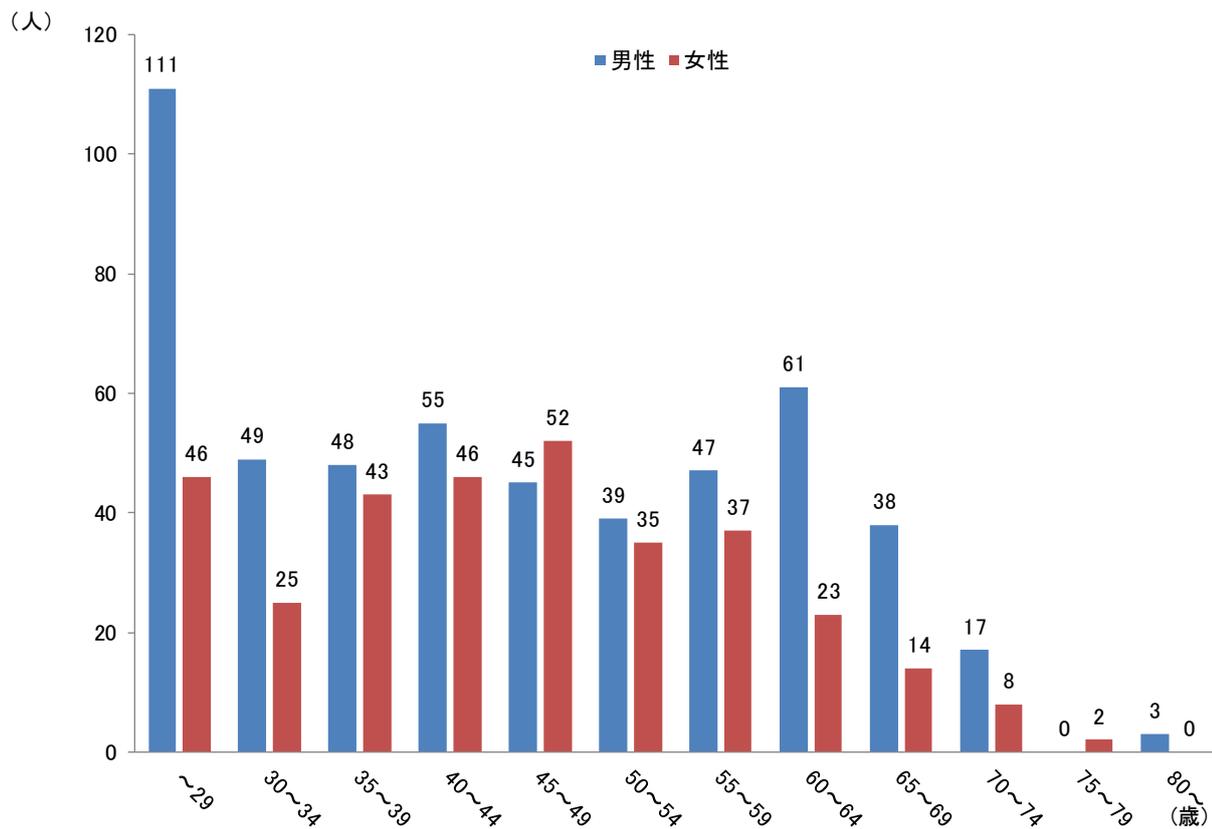


施設内健診での項目は、一般健診、結核健診、胃がん検診の順に多かった。

表2 施設内一般健診健診性別年齢別実績表（一般健診）

年齢階層	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	111	49	48	55	45	39	47	61	38	17	0	3	513
女性	46	25	43	46	52	35	37	23	14	8	2	0	331
男女計	157	74	91	101	97	74	84	84	52	25	2	3	844

図2 施設内健診性別年齢別実績（一般健診）



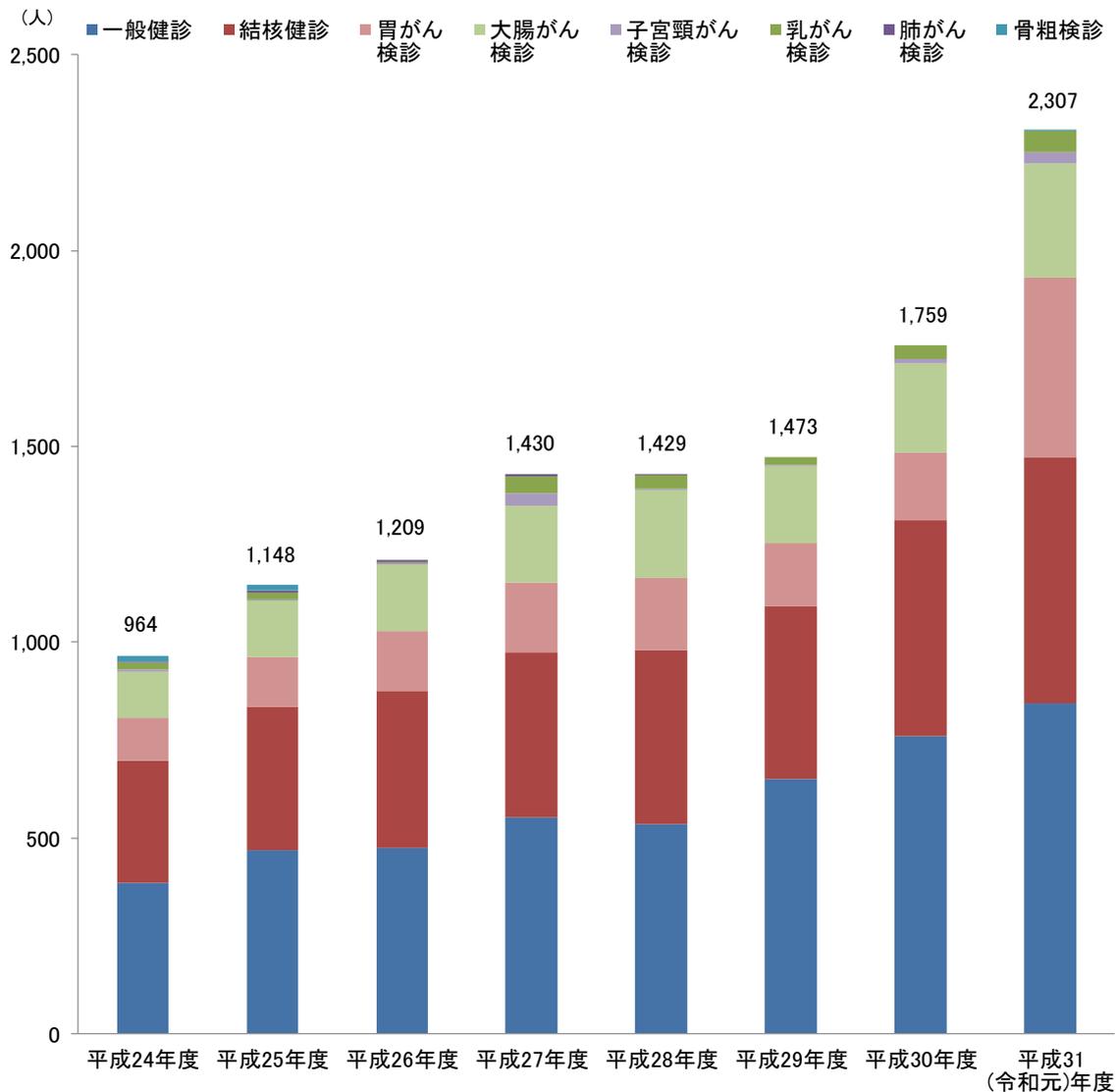
性別では、男性が女性より多く、年齢別では男性で29歳以下、60～64歳、40～44歳、30～34歳の順に多く、女性が45～49歳、29歳以下・40～44歳、35～39歳の順に多かった。

表3 施設内健診実施状況の経年比較

(人)

年度	一般健診	結核健診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮頸がん 検診	乳がん 検診	肺がん 検診	骨粗検診
平成24年度	386	311	108	120	5	18	3	13
平成25年度	468	368	125	144	5	18	5	15
平成26年度	475	401	152	171	3	3	4	0
平成27年度	552	422	178	198	31	42	7	0
平成28年度	536	442	187	224	4	34	2	0
平成29年度	650	443	160	196	4	20	0	0
平成30年度	761	549	174	227	14	34	0	0
平成31 (令和元)年	844	630	458	292	28	54	0	1

図3 施設内健診実施状況の経年比較



平成31（令和元）年度は、平成30年度に比べ、一般健診が約10%増加、胃がん検診は約2.6倍増加した。

③特定保健指導事業

巡回健診や施設内健診を通じて特定健診に基づく保健サービスを実施した。また、特定健診結果から生活習慣病のリスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人達に対して、動機づけ支援や積極的支援など保健指導を通じ、生活習慣病を見直すサポートを実施した。

平成 31（令和元）年度特定保健指導実績者数は 128 人であった。また、そのうち平成 31（令和元）年度支援者は、積極的支援が 28 人、動機づけ支援が 66 人で、過年度継続支援者は積極的支援が 16 人、動機づけ支援が 18 人であった。

④その他保健指導事業

県民の健康づくりのため、委託を受けた市町や企業等の求めに応じ、健康づくりに関する講演や保健指導等を実施した。

I. 守山市慢性腎臓病重症化予防事業

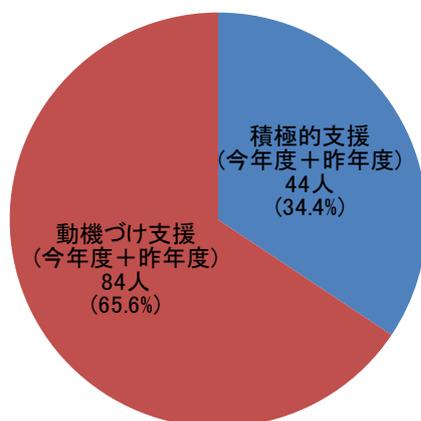
守山市より委託を受け、対象者の健康づくりのため、保健指導を実施した。

- ・面接予定者 11 名に対し、面接実施者 11 名
- ・電話支援のべ 50 回

表 1 特定保健指導実施状況（指導区分別）

指導区分	受診者数
積極的支援	28人
動機づけ支援	66人
過年度積極的支援	16人
過年度動機づけ支援	18人
合計	128人

図1:特定保健指導実施状況(指導区分別)



動機づけ支援が65.6%、積極的支援が34.4%であった。

(2) 結核健診事業

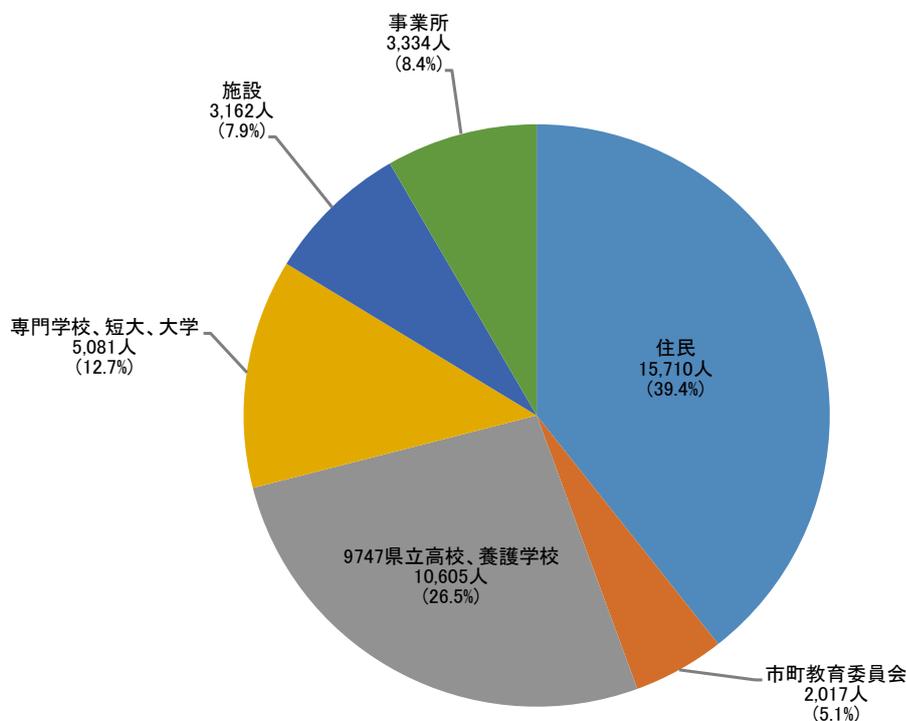
結核罹患率は減少傾向にあるが、発病者に占める高齢者の割合は増加傾向にあることから、結核の早期発見と正しい知識の普及・啓発を図るため、胸部エックス線デジタル撮影により結核健診を実施した。また、受託側のニーズによりストレッチャー、車いすでの撮影が可能なリフト検診車を配車し、受診者の状況に対応した健診を実施した。

平成 31（令和元）年度結核健診実績者数（肺がん検診同時実施分含む）は 39,909 人であり、前年度実績者数と比べ 2,782 人の増であった。

表 1 結核健診実施状況（団体区分別）

団体区分	団体数	実施人数	区分								読影なし
			精検不要	肺活動性結核	核非活動性変結性	疾患循環器	要その他	疑い肺がん	肺がんを強く疑う	異常なし	
住 民	11	15,710	3,847	1	156	9	20	387	4	11,286	0
市町教育委員会	89	2,017	266	0	6	1	1	11	1	1,731	0
県立高校、養護学校	70	10,605	519	0	6	1	9	0	0	10,070	0
専門学校、短大、大学	10	5,081	370	0	7	0	2	0	0	4,702	0
施 設	63	3,162	944	0	96	3	9	50	6	1,969	85
事 業 所	114	3,334	490	0	10	1	2	22	2	2,621	186
合計	357	39,909	6,436	1	281	15	43	470	13	32,379	271

図1 結核健診実施状況（団体区分別）



357団体39,909人が受診し、うち、精検不要・異常なしを除くと、823人に所見が見られた。

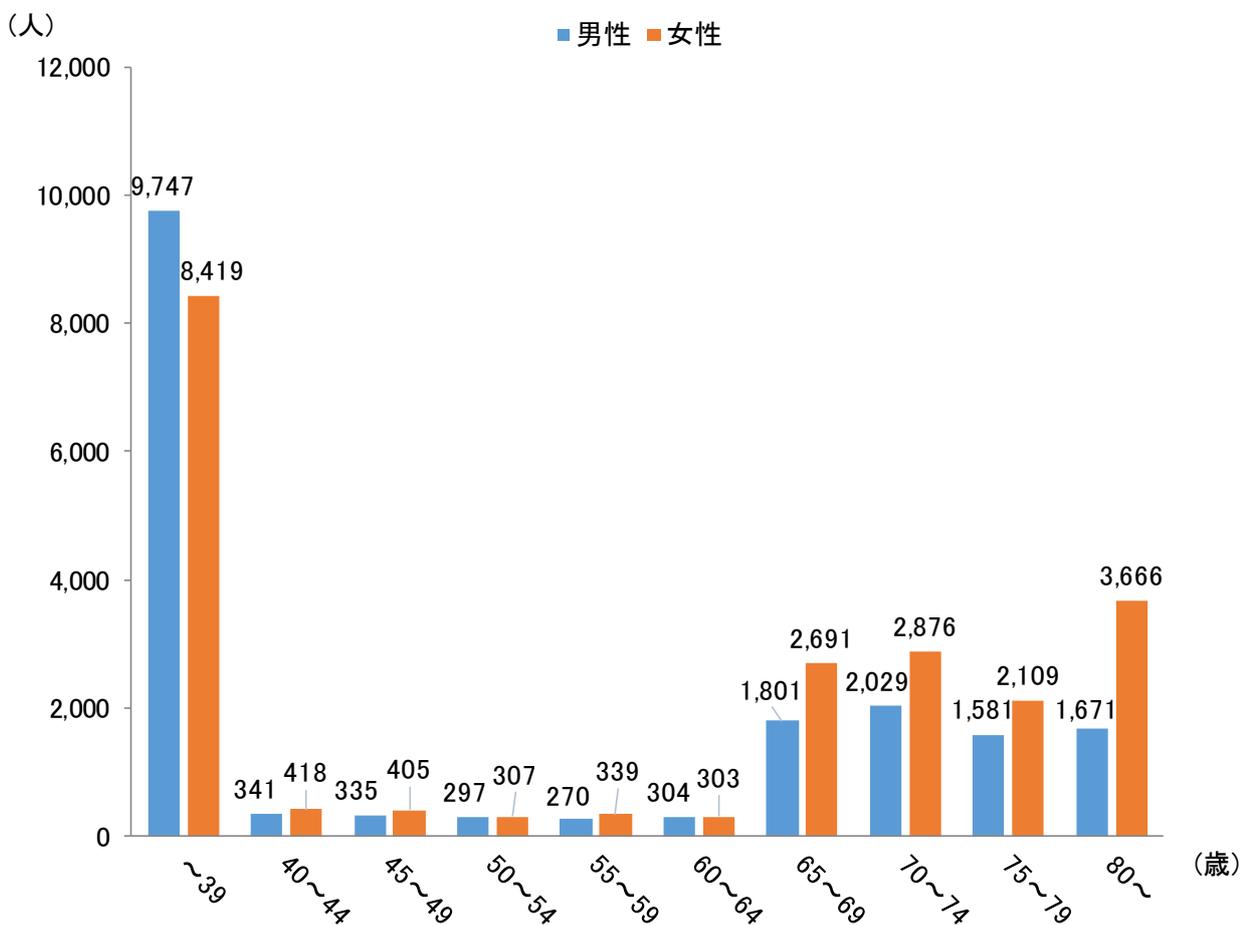
表2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	9,747	341	335	297	270	304	1,801	2,029	1,581	1,671	18,376
女性	8,419	418	405	307	339	303	2,691	2,876	2,109	3,666	21,533
合計	18,166	759	740	604	609	607	4,492	4,905	3,690	5,337	39,909

※撮影のみ、性別不明を除く

図2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

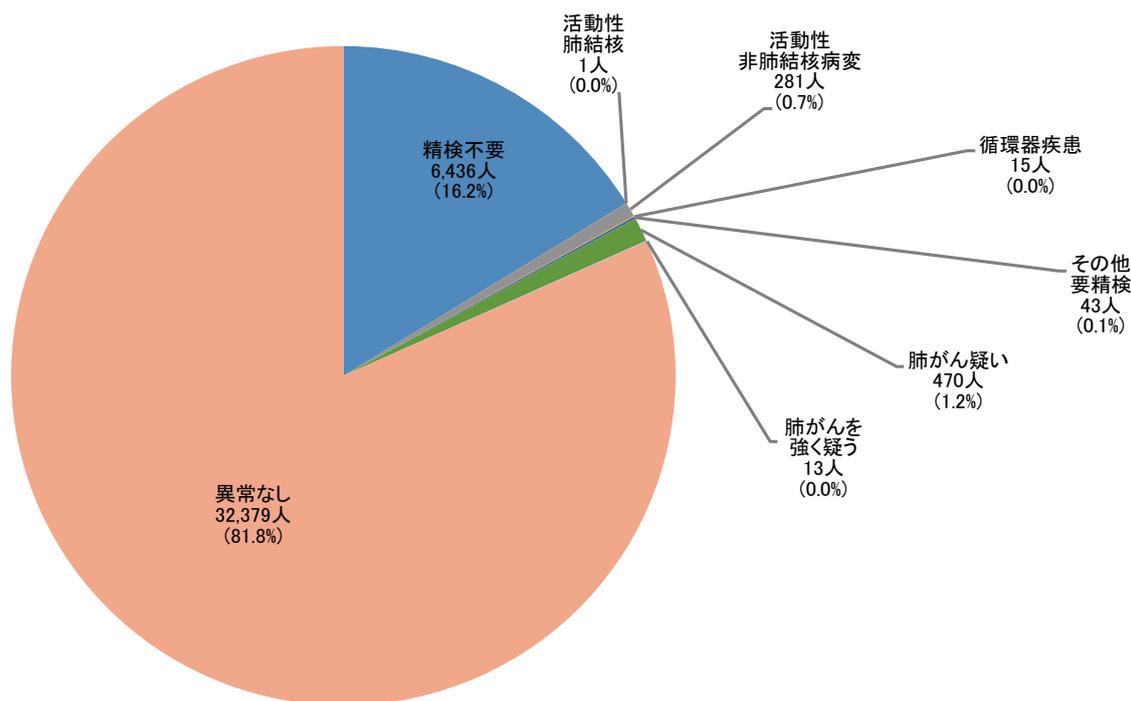


性別では女性が男性より約3,160人多く、年齢別では男性で39歳以下、70～74歳、65～69歳の順に多く、女性が39歳以下、80歳以上、70～74歳の順に多かった。

表3 結核健診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	活動性肺結核	活動性非肺結核病変	循環器疾患	その他要精検	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたりの受診人数	
市町	217	15,710	3,847	1	156	9	20	387	4	11,286	0	72.40	
内訳	大津市	1	31	6	0	1	0	1	0	23	0	31.00	
	栗東市	15	621	155	0	5	0	20	0	439	0	41.40	
	日野町	14	1,731	316	0	15	3	1	35	0	1,361	0	123.64
	竜王町	6	335	76	0	2	0	0	8	0	249	0	55.83
	彦根市	49	2,705	655	0	16	1	2	48	0	1,983	0	55.20
	豊郷町	9	578	169	0	4	1	0	18	1	385	0	64.22
	甲良町	9	735	200	0	3	1	1	10	0	520	0	81.67
	多賀町	10	742	178	0	4	1	1	24	1	533	0	74.20
	東近江市	57	3,215	901	1	50	1	6	113	1	2,142	0	56.40
	米原市	37	2,890	627	0	34	0	6	63	0	2,160	0	78.11
	愛荘町	10	2,127	564	0	22	1	1	47	1	1,491	0	212.70
	市町教育委員会	379	2,017	266	0	6	1	1	11	1	1,731	0	5.32
県立高校・養護学校	108	10,605	519	0	6	1	9	0	0	10,070	0	98.19	
専門学校・短大・大学	27	5,081	370	0	7	0	2	0	0	4,702	0	188.19	
施設	65	3,162	944	0	96	3	9	50	6	1,969	85	48.65	
事業所	206	3,334	490	0	10	1	2	22	2	2,621	186	16.18	
総数	1,002	39,909	6,436	1	281	15	43	470	13	32,379	271	39.83	

図3 結核健診実施状況（団体別詳細）

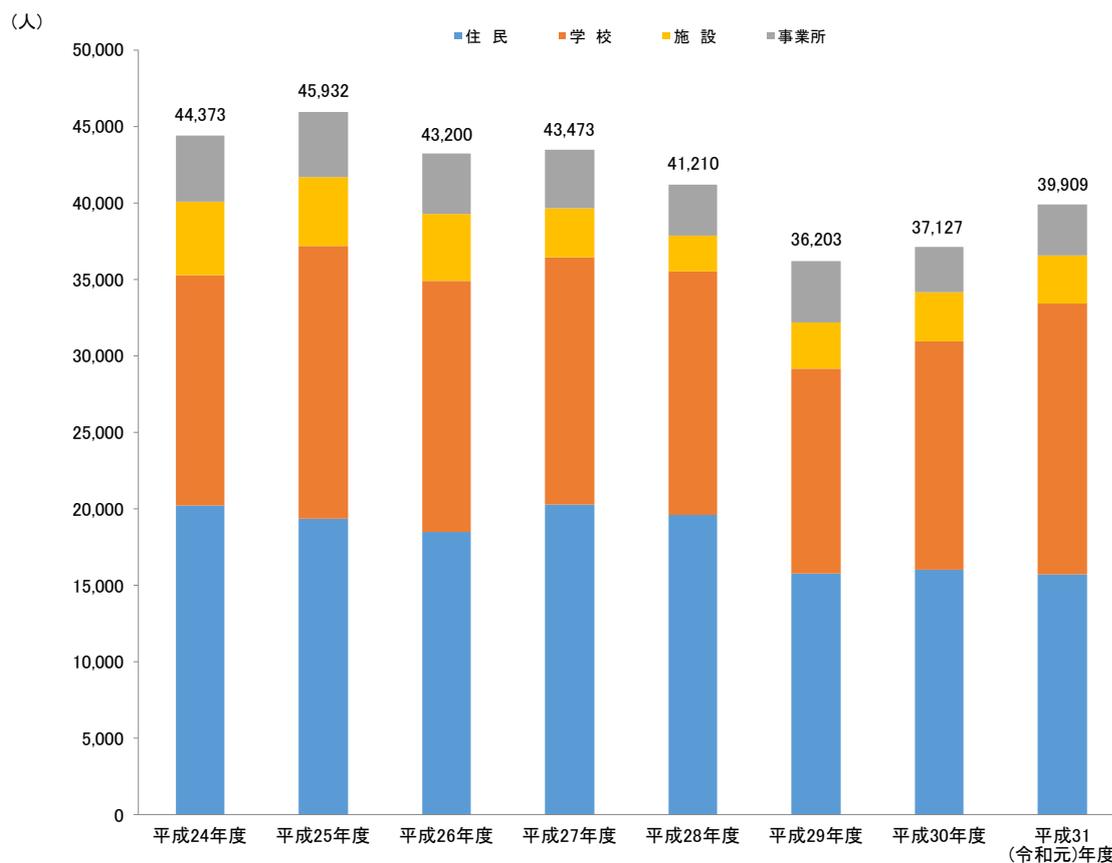


延べ1,002日にわたり39,909人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は39.83人であった。

表4 結核健診実施状況の経年比較

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	20,234	13	19,342	11	18,456	10	20,247	10	19,583	4	15,734	10	16,020	10	15,710	11
学 校	15,050	75	17,802	80	16,419	80	16,213	80	15,935	80	13,447	77	14,916	156	17,703	169
施 設	4,766	77	4,548	77	4,415	77	3,207	77	2,357	77	3,007	56	3,212	60	3,162	63
事 業 所	4,323	157	4,231	165	3,910	162	3,806	162	3,335	162	4,015	154	2,979	87	3,334	114
合 計	44,373	322	45,923	333	43,200	329	43,473	329	41,210	323	36,203	297	37,127	313	39,909	357

図4 結核健診実施状況の経年比較



平成25年度を境に徐々に減少していたが、平成30年度から学校の健診が増えたことにより増加に転じる。

(3) がん検診事業

がんは、日本人の死因のトップであり、なお増え続けている状況にある。滋賀県がん対策推進計画に基づき、県民に対してがんに関する正しい知識の普及、啓発を図り、がんの早期発見に努めるため、がん検診を実施した。

① 胃がん検診事業

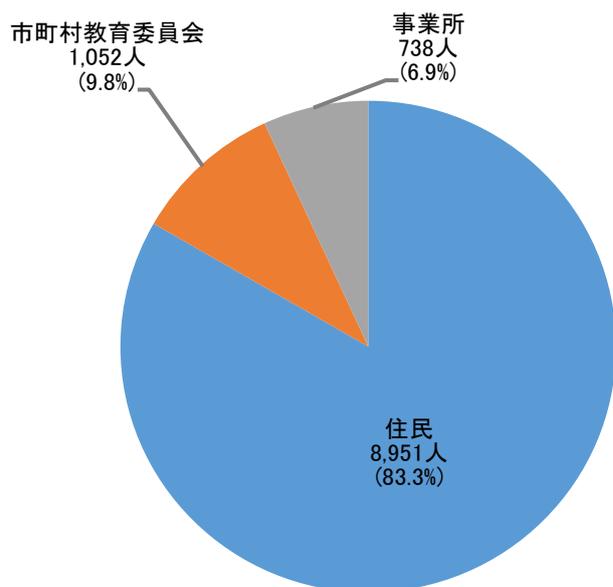
県内で胃がんによる死亡者がまだ多い状況にあることから、胃がんの早期発見に努めるため、バリウム造影による胃部エックス線デジタル撮影により実施した。

平成 31（令和元）年度胃がん検診実績者数は 10,741 人であり、前年度実績者数と比べ 892 人の減であった。

表 1 胃がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	（胃所見） 精検不要	（付随所見） 精検不要	（精検不要） 受診勧奨	読影なし
住 民	13	8,951	4,209	453	94	2,401	108	1,686	0
市町村教育委員会	107	1,052	609	30	0	299	0	114	0
事 業 所	79	738	452	19	6	150	3	95	13
合計	199	10,741	5,270	502	100	2,850	111	1,895	13

図1 胃がん検診実施状況（団体別）



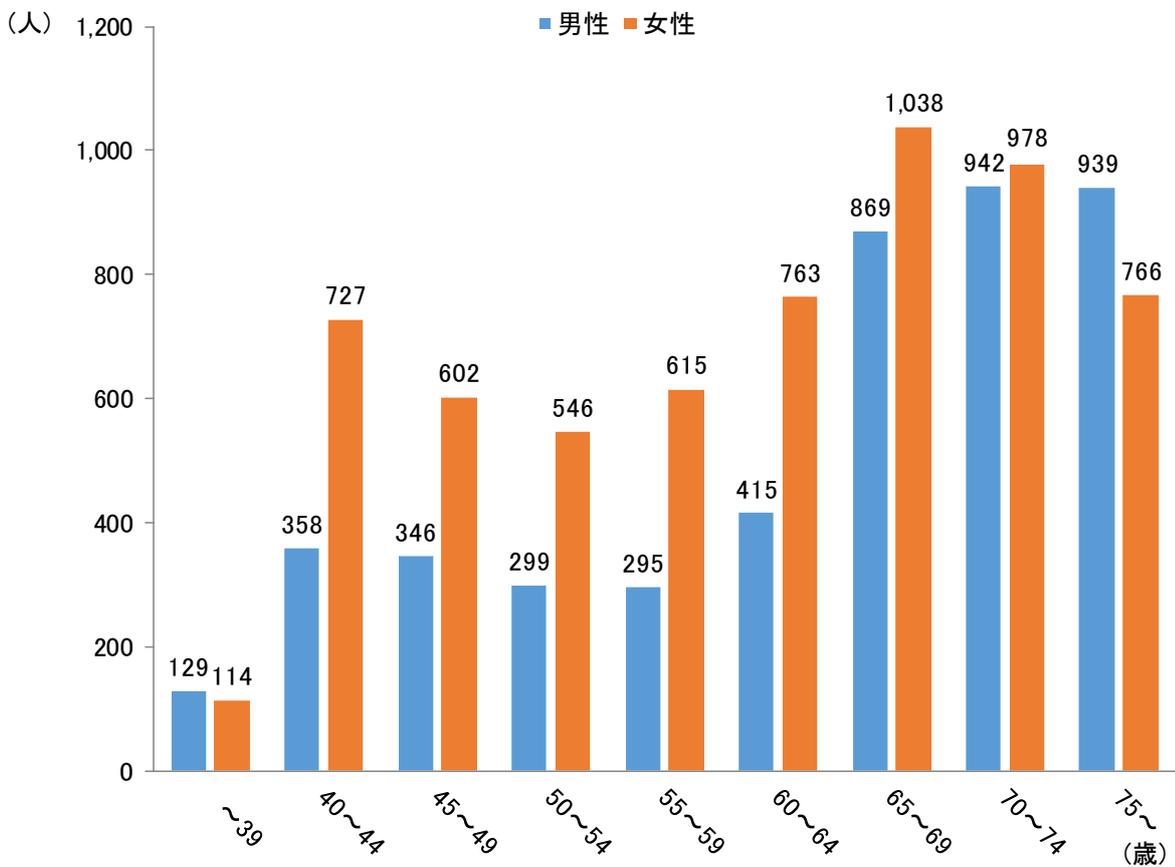
199団体10,741人が受診、そのうち、602人が要精検であった。

表2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	129	358	346	299	295	415	869	942	939	4,592
女性	114	727	602	546	615	763	1,038	978	766	6,149
合計	243	1,085	948	845	910	1,178	1,907	1,920	1,705	10,741

図2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

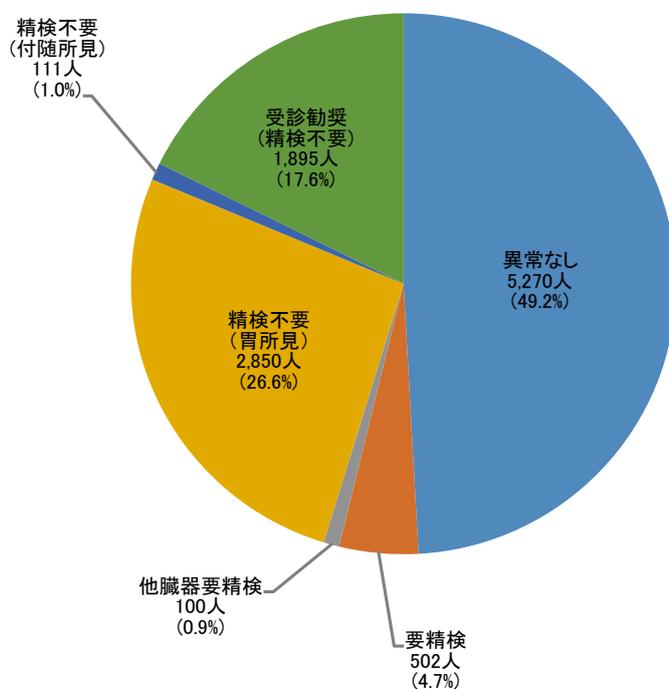


性別では、女性が男性より約1,560人多く、年齢別では男性が70～74歳、75歳以上、65～69歳の順に多く、女性が65～69歳、70～74歳、75歳以上の順に多かった。

表3 胃がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	精検不要 (胃所見)	(精検不要 (付随所見))	(精検不要 (受診勧奨))	読影なし	要精検率	要精検率 他臓器	有所見率	1日あたり 受診人数	
市町	250	8,951	4,209	453	94	2,401	108	1,686	0	5.1%	1.1%	45.7%	35.80	
内 訳	大津市	57	1,806	836	76	19	664	29	182	0	4.2%	1.1%	46.8%	31.68
	草津市	6	178	83	13	4	51	0	27	0	7.3%	2.2%	43.8%	29.67
	守山市	5	115	66	4	2	24	0	19	0	3.5%	1.7%	37.4%	23.00
	栗東市	13	181	83	9	0	35	1	53	0	5.0%	0.0%	48.6%	13.92
	日野町	14	433	202	23	5	80	7	116	0	5.3%	1.2%	45.3%	30.93
	竜王町	6	332	161	20	2	97	1	51	0	6.0%	0.6%	44.6%	55.33
	彦根市	18	858	369	49	8	229	16	187	0	5.7%	0.9%	48.5%	47.67
	豊郷町	5	185	85	16	4	51	1	28	0	8.6%	2.2%	42.7%	37.00
	甲良町	6	270	106	9	1	79	4	71	0	3.3%	0.4%	55.6%	45.00
	多賀町	8	345	130	23	3	132	0	57	0	6.7%	0.9%	54.8%	43.13
	東近江市	51	2,400	1,146	130	24	511	36	553	0	5.4%	1.0%	44.3%	47.06
	高島市	22	749	372	27	7	209	8	126	0	3.6%	0.9%	44.7%	34.05
	米原市	39	1,099	570	54	15	239	5	216	0	4.9%	1.4%	41.4%	28.18
市町教育委員会	309	1,052	609	30	0	299	0	114	0	2.9%	0.0%	39.3%	3.40	
事業所	208	738	452	19	6	150	3	95	13	2.6%	0.8%	33.2%	3.55	
総数	767	10,741	5,270	502	100	2,850	111	1,895	13	4.7%	0.9%	44.2%	14.00	

図3 胃がん検診実施状況（結果別）

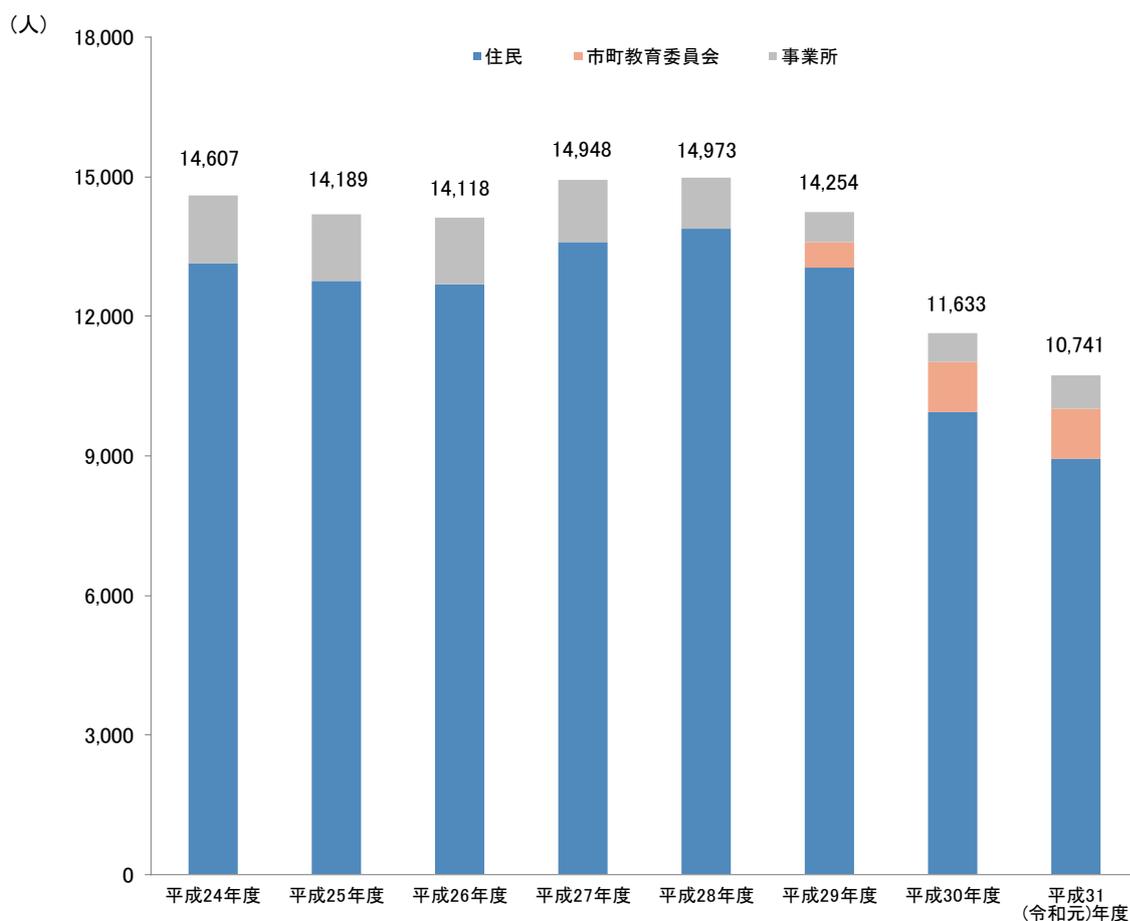


延べ767日にわたり、10,741人に実施、平均すると1日あたりの受診人数は14人であった。

表4 胃がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	13,137	12	12,753	11	12,697	11	13,591	12	13,880	14	13,058	14	9,945	13	8,951	13
市町教育委員会											542	48	1,079	103	1,052	107
事 業 所	1,470	138	1,436	144	1,421	142	1,357	133	1,093	104	654	55	609	57	738	79
合計	14,607	150	14,189	155	14,118	153	14,948	145	14,973	118	14,254	117	11,633	173	10,741	199

図4 胃がん検診実施状況の経年比較(団体別)



平成24年度から平成29年度にかけて14,000人台を維持してきたが、住民健診の失注や市町の高齢者受診案内が控えられたこと等により平成30年度から大幅な減少となった。

平成30年度に続き、平成31（令和元年度）も減少となった。

②大腸がん検診事業

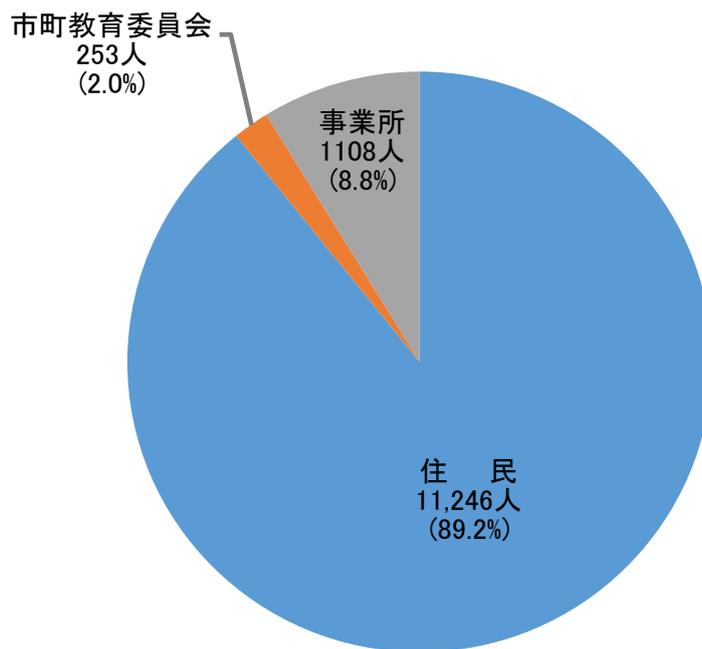
大腸がんによる死亡者は増加傾向にあり、最も罹患率の多い疾患となっている。早期発見、早期治療に努めるため、便潜血検査（免疫便潜血検査2日法）を実施した。

平成31（令和元）年度大腸がん検診実績者数は12,607人であり、前年度実績者数と比べ40人の減であった。

表1 大腸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検
住 民	10	11,246	10,569	649	28	0	28
市 町 教 育 委 員 会	28	253	240	13	0	0	0
事 業 所	86	1,108	1,056	52	0	0	0
合計	124	12,607	11,865	714	28	0	28

図1 大腸がん検診実施状況（団体別）



124団体12,607人が受診。そのうち、714人が陽性であった。

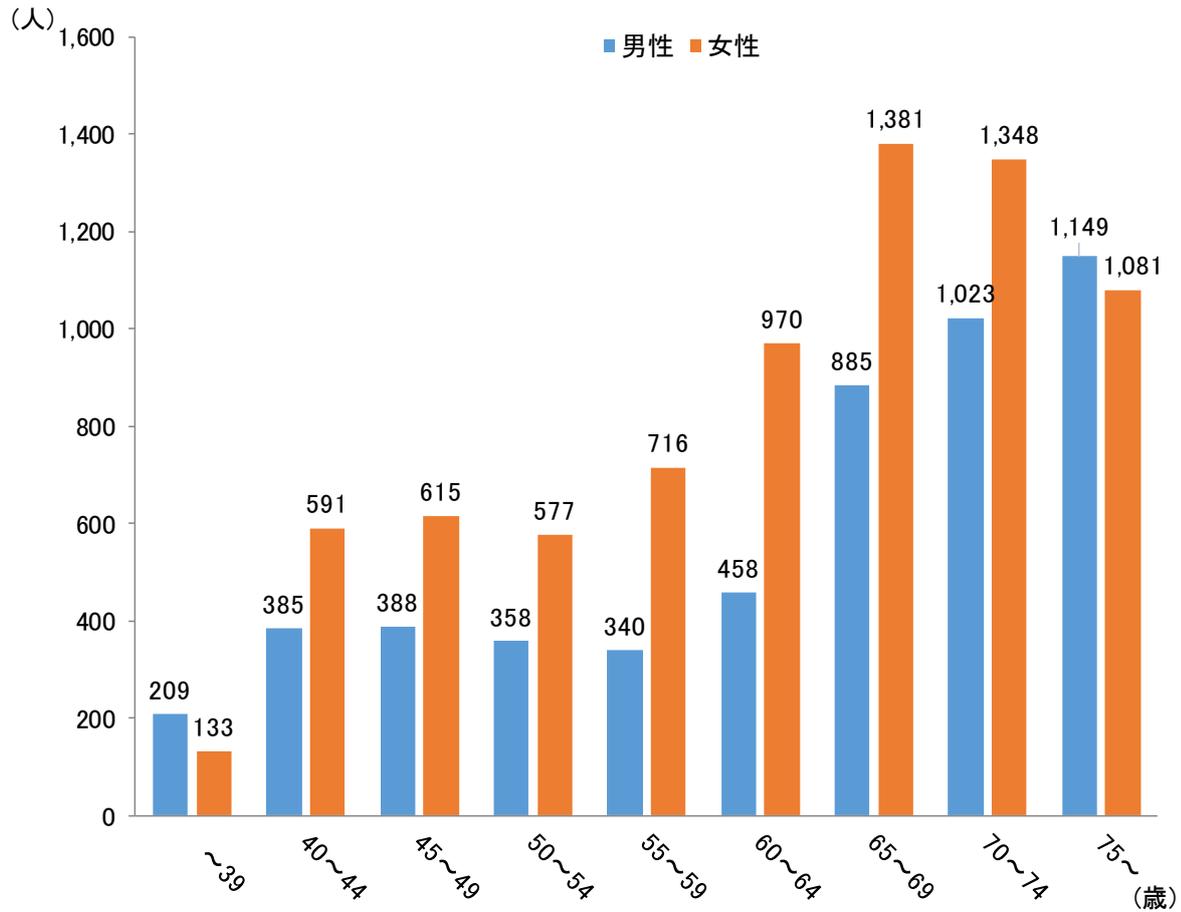
表2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	209	385	388	358	340	458	885	1,023	1,149	5,195
女性	133	591	615	577	716	970	1,381	1,348	1,081	7,412
合計	342	976	1,003	935	1,056	1,428	2,266	2,371	2,230	12,607

(人)

※再検査を除く

図2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

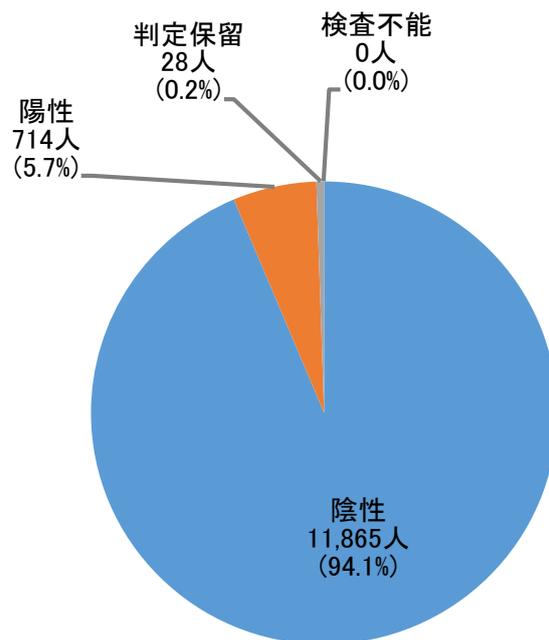


性別では、女性が男性より多く、年齢別では、男性で75歳以上、70～74歳、65～69歳、女性で65～69歳、70～74歳、75歳以上の順に多かった。

表3 大腸がん検診実施状況（団体別詳細）

		日数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検	陽性率	1日あたり 受診人数
市町		186	11,246	10,569	649	28	0	28	5.8%	60.46
内 訳	大津市	1	30	27	3	0	0	0	10.0%	30.00
	日野町	17	848	770	50	28	0	28	5.9%	49.88
	竜王町	6	510	489	21	0	0	0	4.1%	85.00
	彦根市	23	1,779	1,701	78	0	0	0	4.4%	77.35
	豊郷町	8	320	303	17	0	0	0	5.3%	40.00
	甲良町	8	423	395	28	0	0	0	6.6%	52.88
	多賀町	9	558	524	34	0	0	0	6.1%	62.00
	東近江市	41	3,504	3,277	227	0	0	0	6.5%	85.46
	高島市	31	1,296	1,216	80	0	0	0	6.2%	41.81
	米原市	42	1,978	1,867	111	0	0	0	5.6%	47.10
市町教育委員会		98	253	240	13	0	0	0	5.1%	2.58
事業所		227	1,108	1,056	52	0	0	0	4.7%	4.88
総数		511	12,607	11,865	714	28	0	28	5.7%	24.67

図3 大腸がん検診実施状況（結果別）

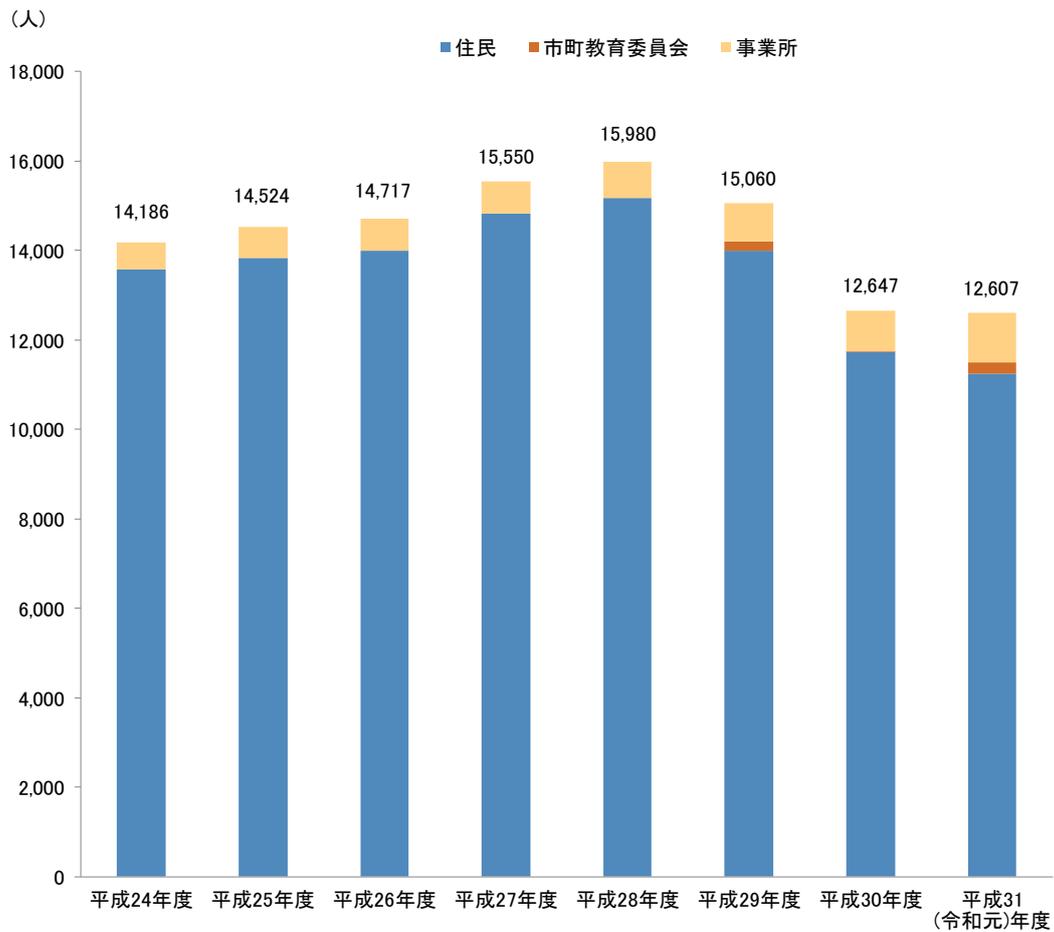


延べ511日にわたり、12,607人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は24.67人であった。

表4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	13,578	8	13,829	7	13,999	7	14,825	8	15,177	10	13,988	10	11,736	9	11,246	10
市町教育委員会											227	28	27	1	253	28
事 業 所	608	53	695	63	718	63	725	55	803	53	845	58	884	59	1,108	86
合 計	14,186	61	14,524	70	14,717	70	15,550	63	15,980	63	15,060	96	12,647	69	12,607	124

図4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）



平成31（令和元）年度は、平成30年度より総数では微減となったが、内訳では、市町教育委員会と事業所が増加となった。

③子宮頸がん検診事業

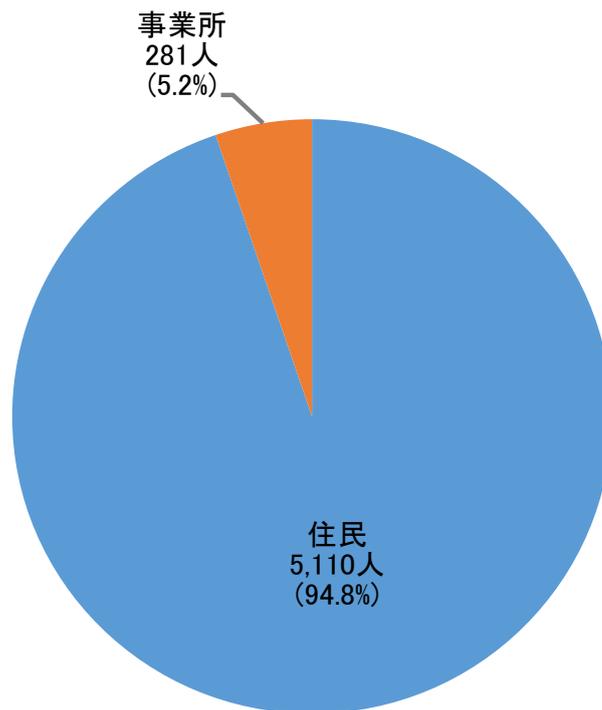
子宮頸がんは20代、30代の女性が患うがんの中で最も多い疾患である。早期発見に努めるため、双合診および子宮頸部の細胞診により実施した。

平成31（令和元）年度子宮頸がん検診実績者数は5,391人であり、子宮頸がん検診は前年度実績者数と比べ227人の減であった。

表1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	要再検	異常を認めず	その他	要精検率 (B/A)
住 民	10	5,110	15	0	5,095	0	0.29%
事 業 所	16	281	0	0	281	0	0.00%
合計	26	5,391	15	0	5,376	0	0.28%

図1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）



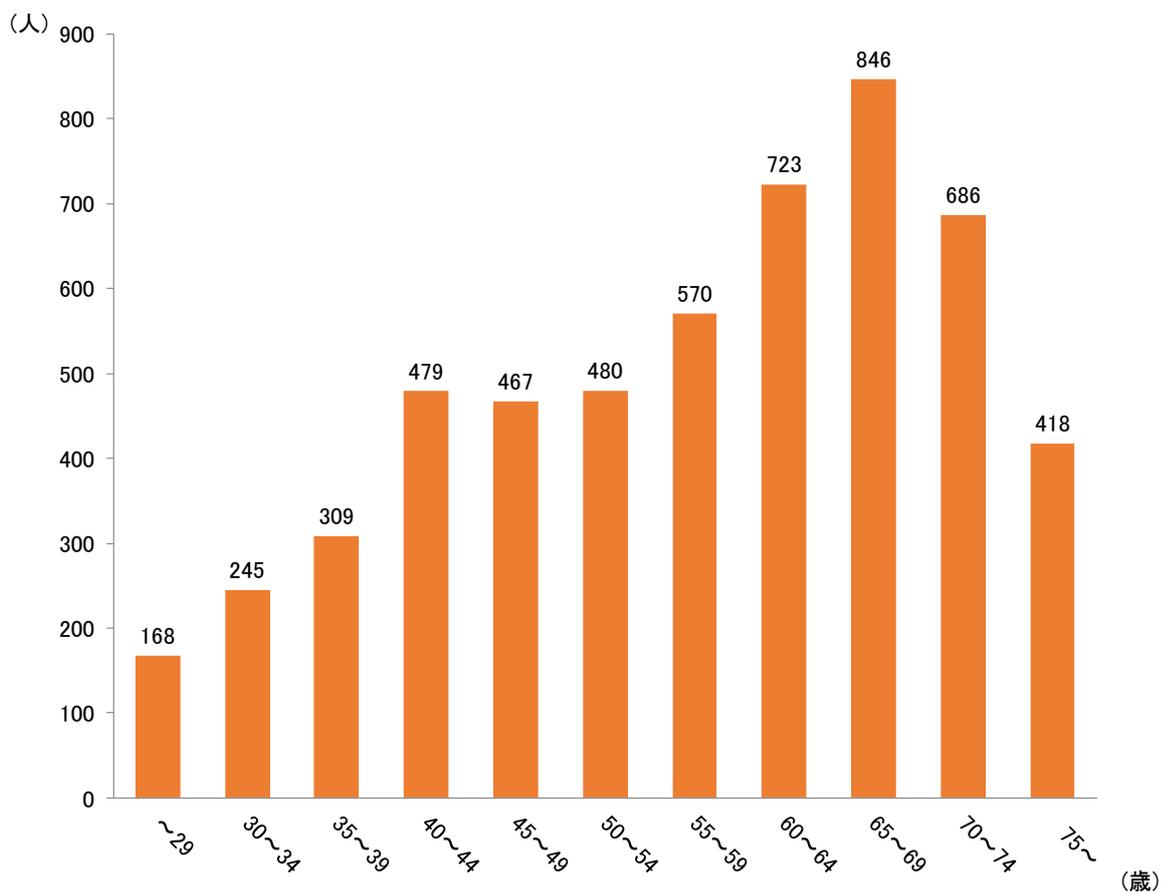
26団体5,391人が受診し、そのうち、15人（0.28%）が要精検者であった。

表2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

(人)

性別	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	168	245	309	479	467	480	570	723	846	686	418	5,391

図2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

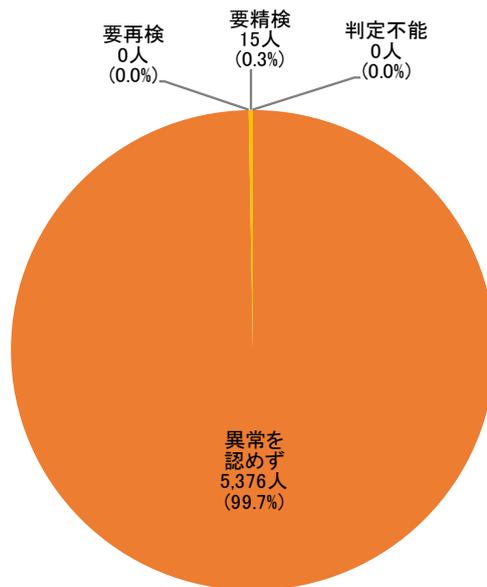


年齢別では、65～69歳、60～64歳、70～74歳の順に受診者が多かった。

表3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	ベセスダ分類										判定不能	異常を認めず	要再検	要精検	要精検率	1日あたり受診人数	
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenoca	Other							
市町	143	5,110	5,095	7	2	2	3	0	1	0	0	0	0	0	5,095	0	15	0.29%	35.73
内訳	大津市	1	31	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0.00%	31.00
	日野町	11	367	366	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	366	0	1	0.27%	33.36
	竜王町	6	211	210	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	210	0	1	0.47%	35.17
	彦根市	16	760	758	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	758	0	2	0.26%	47.50
	豊郷町	4	134	134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134	0	0	0.00%	33.50
	甲良町	7	177	176	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176	0	1	0.56%	25.29
	多賀町	5	185	184	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	184	0	1	0.54%	37.00
	東近江市	46	1,841	1,837	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1,837	0	4	0.22%	40.02
	高島市	20	623	623	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	623	0	0	0.00%	31.15
	米原市	27	781	776	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	776	0	5	0.64%	28.93
事業所	26	281	281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	281	0	0	0.00%	10.81	
総数	169	5,391	5,376	7	2	2	3	0	1	0	0	0	0	5,376	0	15	0.28%	31.90	

図3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

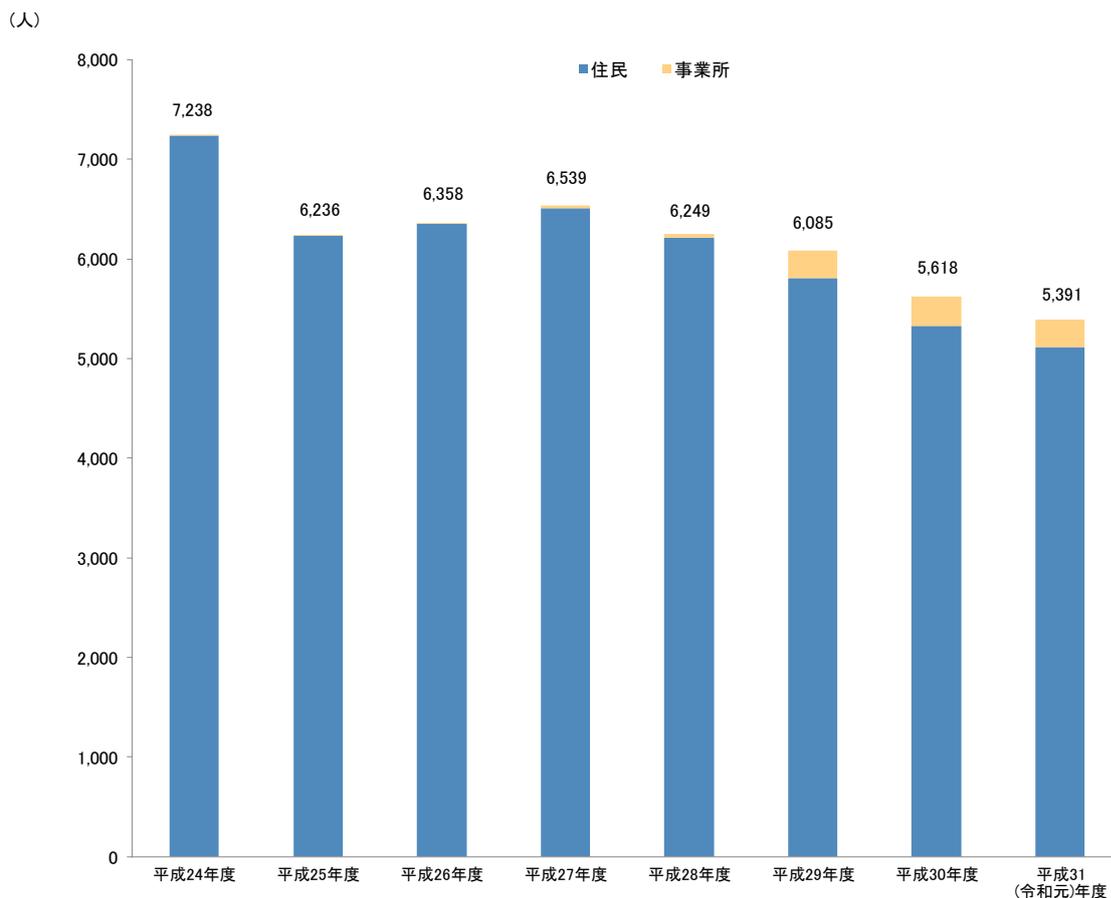


延べ169日にわたり、5,391人に実施、平均すると1日あたりの受診人数は31.9人であった。

表4 子宮頸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	7,233	10	6,231	9	6,352	8	6,508	9	6,216	9	5,802	9	5,323	9	5,110	10
事 業 所	5	4	5	3	6	4	31	4	33	4	283	10	295	13	281	16
合 計	7,238	14	6,236	12	6,358	12	6,539	13	6,249	13	6,085	19	5,618	22	5,391	26

図4 子宮頸がん検診の実施状況の経年比較(団体別)



平成23年度以降、滋賀県産婦人科医会との集合契約による受診機会の拡大により受診者数漸減。市町の受診勧奨により平成25年より平成27年度は増加したが、その後漸減。平成31（令和元）年度においても、受診者減となった。

④乳がん検診事業

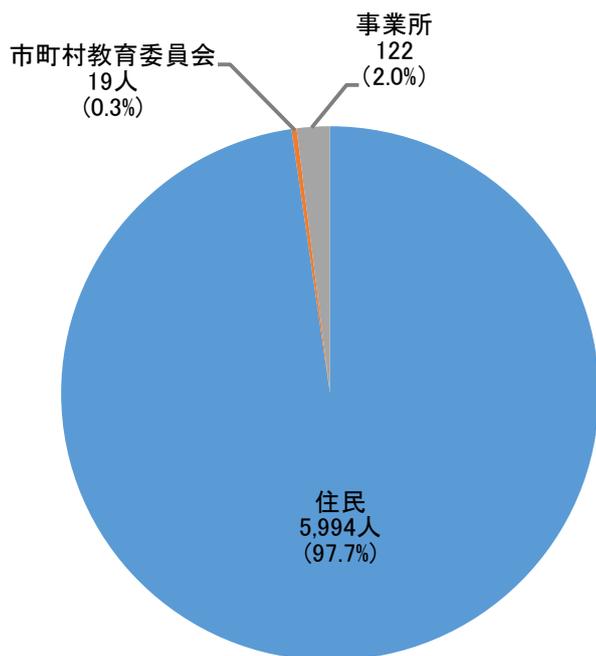
乳がんの罹患率は増加傾向にあるが、早期の発見、治療を行えば予後は良好である。当財団では、マンモグラフィ撮影を実施した。

平成 31 (令和元) 年度乳がん検診実績者数は 6,135 人であり、前年度実績者数と比べ 125 人の増であった。

表 1 マンモグラフィ併用乳がん検診実施状況 (団体別)

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)
				有所見	異常所見なし	
住 民	10	5,994	447	0	5,547	7.46%
市町村教育委員会	1	19	4	0	15	21.05%
事 業 所	12	122	5	0	117	4.10%
合計	23	6,135	456	0	5,679	7.43%

図1 マンモグラフィ併用乳がん検診実施状況(団体別)



23団体6,135人が受診し、そのうち、456人(7.43%)が要精密検査であった。

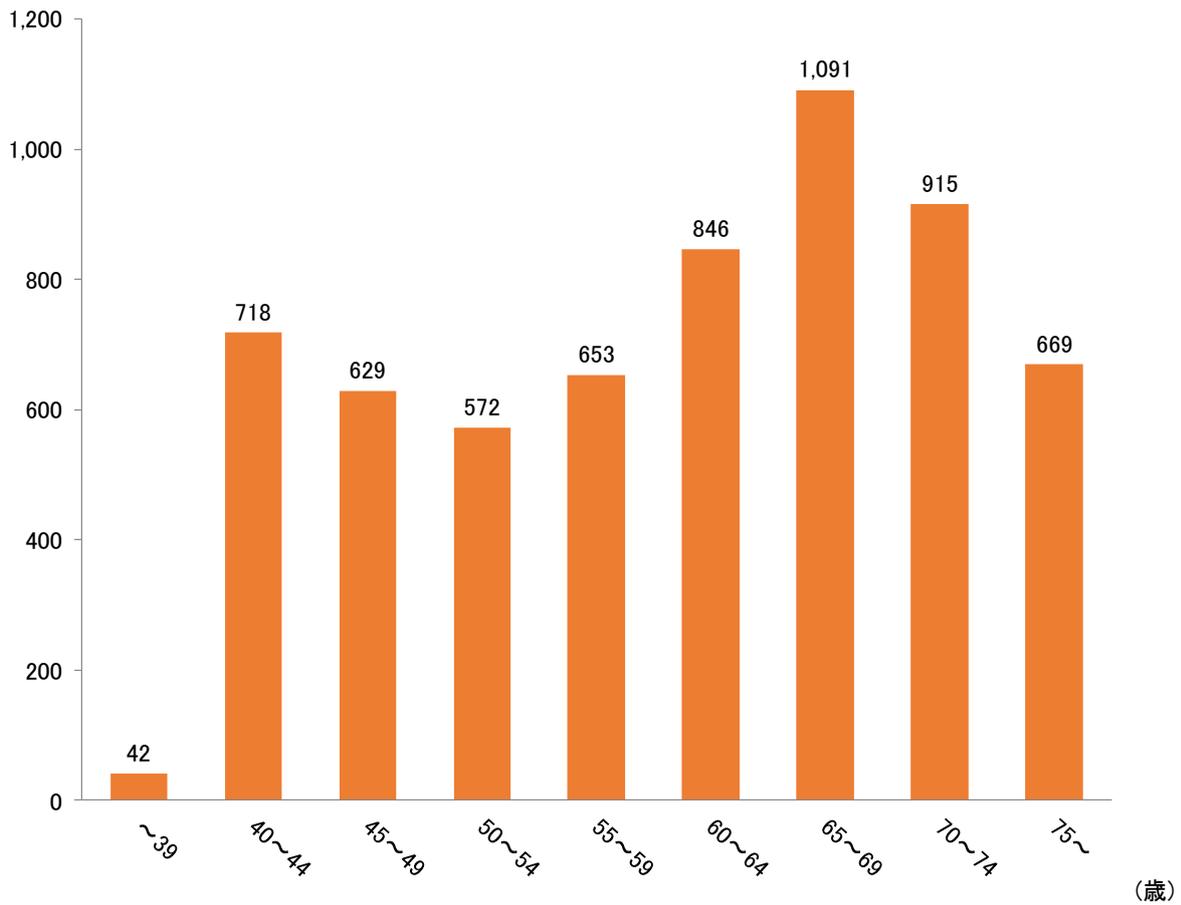
表2 乳がん検診実施状況（年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	42	718	629	572	653	846	1,091	915	669	6,135

図2 乳がん検診実施状況（年齢別）

(人)

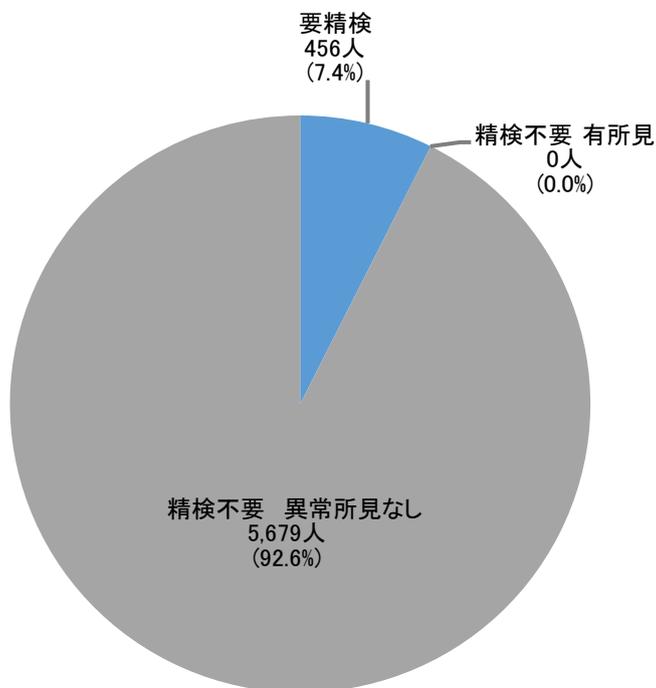


年齢別では65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に多かった。

表3 乳がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)	1日あたり 受診人数	
				有所見	異常所見 なし			
市町	147	5,994	447	0	5,547	7.46%	40.78	
内訳	大津市	1	36	1	0	35	2.78%	36.00
	日野町	11	401	42	0	359	10.47%	36.45
	竜王町	6	265	24	0	241	9.06%	44.17
	彦根市	16	894	84	0	810	9.40%	55.88
	豊郷町	4	152	15	0	137	9.87%	38.00
	甲良町	7	216	13	0	203	6.02%	30.86
	多賀町	5	212	11	0	201	5.19%	42.40
	東近江市	49	2,051	156	0	1,895	7.61%	41.86
	高島市	20	784	37	0	747	4.72%	39.20
	米原市	28	983	64	0	919	6.51%	35.11
	市町村教育委員会	1	19	4	0	15	21.05%	19.00
事業所	23	122	5	0	117	4.10%	5.30	
総数	171	6,135	456	0	5,679	7.43%	35.88	

図3 乳がん検診実施状況（結果別）

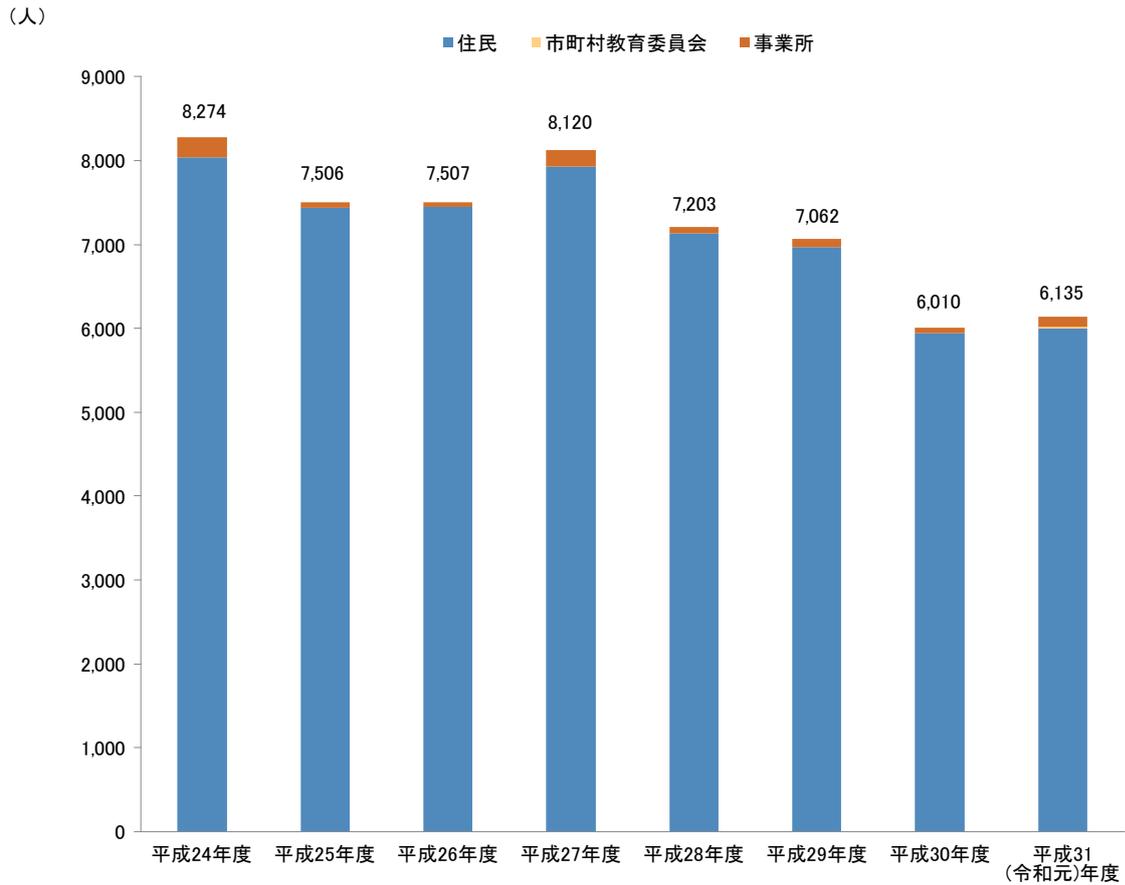


延べ171日にわたり、6,135人に実施。平均すると1日あたり受診人数は35.88人であった。

表4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	8,042	10	7,437	9	7,450	9	7,933	10	7,127	10	6,966	10	5,939	9	5,994	10
市町村教育委員会															19	1
事 業 所	232	5	69	4	57	3	187	6	76	4	96	7	71	12	122	12
合 計	8,274	15	7,506	13	7,507	12	8,120	16	7,203	14	7,062	17	6,010	21	6,135	23

図4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）



平成24年度までは、国のクーポン制導入に伴い、一時的に受診者も多かったが、平成25年度以降漸減。平成31(令和元)年度は事業所の受診者が増加したことにより、前年度から若干増加した。

⑤肺がん検診事業

肺がんは、部位別がん死亡数が最も多い疾患である。早期発見のため、問診および胸部エックス線デジタル撮影、またハイリスクの受診者に対しては喀痰細胞診との併用により実施した。

平成 31（令和元）年度肺がん検診実績者数は 12,660 人であり、前年度実績者数と比べ 156 人の減であった。また、そのうち喀痰検査併用受診者が 427 人であった。

表 1 肺がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診者数	精検不要	肺活動性結核性	核非活動性結核性	循環器疾患	要その他精検	肺がん疑い	強く疑う	異常なし	読影なし
住 民	11	12,660	2,845	1	121	4	22	324	3	9,340	0
事 業 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11	12,660	2,845	1	121	4	22	324	3	9,340	0

11団体12,660人が受診し、そのうち、精検不要、異常なしを除くと、475人に所見が見られた。

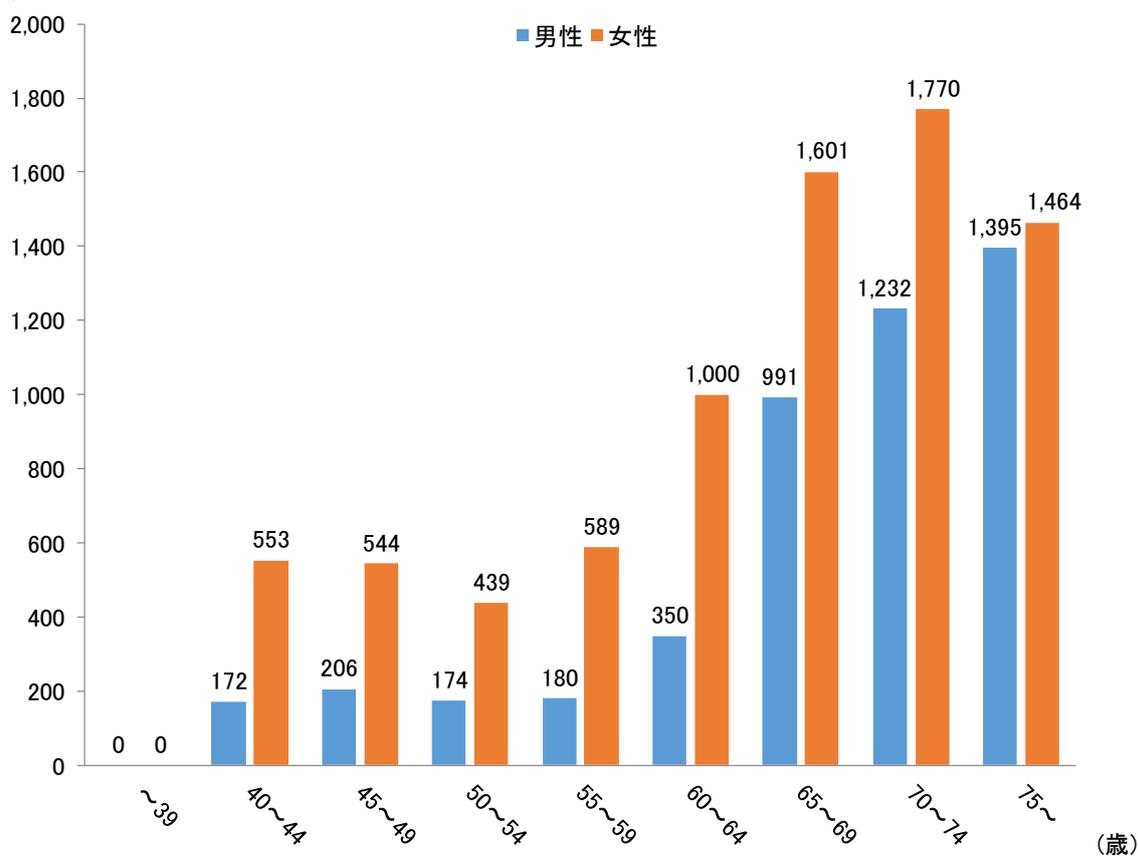
表2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	0	172	206	174	180	350	991	1,232	1,395	4,700
女性	0	553	544	439	589	1,000	1,601	1,770	1,464	7,960
合計	0	725	750	613	769	1,350	2,592	3,002	2,859	12,660

図2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

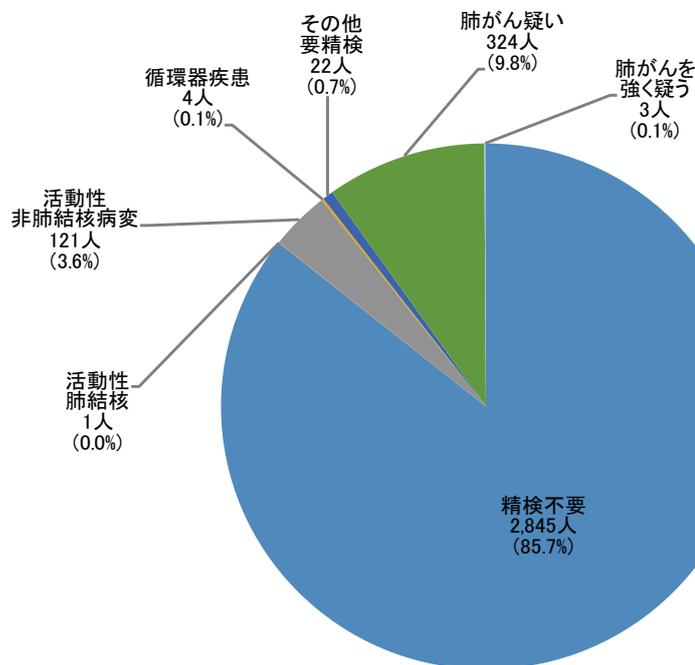


性別では、女性が男性より多く、年齢別では男性が75歳以上、70～74歳、65～69歳の順に多く、女性が70～74歳、65～69歳、75歳以上の順に多かった。

表3 肺がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	肺活動性結核	非肺活動性結核病変	循環器疾患	要精検その他	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたり受診人数
市町	185	12,660	2,845	1	121	4	22	324	3	9,340	0	68.43
内訳												
大津市	1	31	6	0	1	0	0	1	0	23	0	31.00
栗東市	15	621	155	0	5	0	2	20	0	439	0	41.40
日野町	8	305	85	0	3	0	0	6	0	211	0	38.13
竜王町	6	477	98	0	2	0	0	13	0	364	0	79.50
彦根市	49	3,850	786	0	20	1	3	63	0	2,977	0	78.57
豊郷町	9	741	193	0	4	1	0	20	1	522	0	82.33
甲良町	6	504	104	0	1	1	2	12	0	384	0	84.00
多賀町	8	453	113	0	6	0	0	14	0	320	0	56.63
東近江市	54	4,352	1,008	1	54	1	10	131	1	3,146	0	80.59
高島市	4	228	46	0	10	0	1	5	1	165	0	57.00
米原市	25	1,098	251	0	15	0	4	39	0	789	0	43.92
事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総数	185	12,660	2,845	1	121	4	22	324	3	9,340	0	68.43

図3 肺がん検診実施状況（結果別、異常なしを除く）

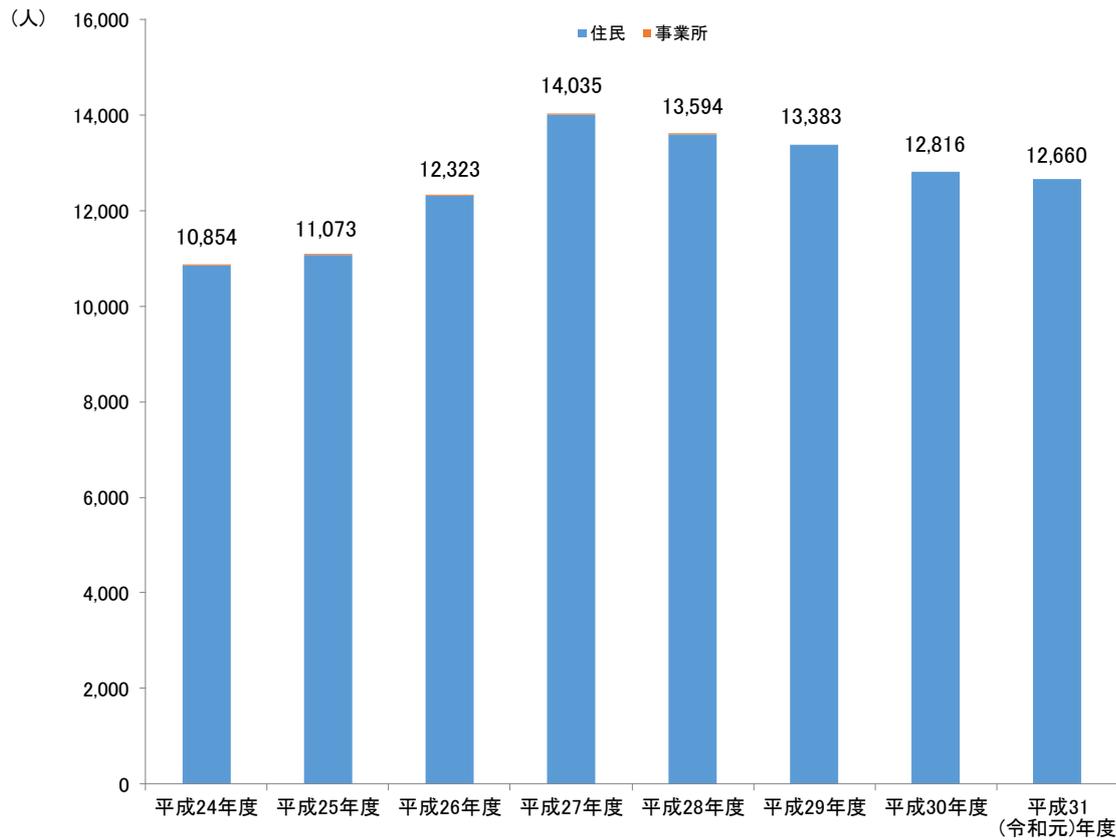


延べ185日にわたり、12,660人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は68.43人であった。

表4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	10,851	10	11,068	8	12,318	9	14,016	11	13,592	11	13,383	11	12,816	10	12,660	11
事 業 所	3	1	5	1	5	1	19	3	2	1	0	0	0	0	0	0
合 計	10,854	11	11,073	9	12,323	10	14,035	14	13,594	12	13,383	11	12,816	10	12,660	11

図4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）



肺がん検診実施市町数の伸びにより、平成24年度以降、住民の受診数が年々増えていたが、一部市町において、医療機関での実施数が増えたことにより、平成28年以降、漸減している。

(4) 検査事業

①骨粗しょう症検査事業

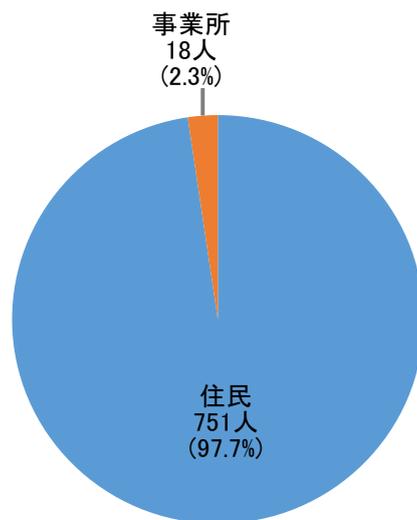
骨粗しょう症は骨折や寝たきりの原因となる疾患であり、予防や早期治療開始を目的として、前腕の橈骨における骨量測定検査（DXA法）を実施した。

平成31（令和元）年度骨粗しょう症検査実績者数は769人であり、前年度実績者数と比べ182人の減であった。

表1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見 なし	要受診率 (B/A)
住 民	6	751	234	157	360	31.16%
事 業 所	2	18	0	0	18	0.00%
合 計	8	769	234	157	378	30.43%

図1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）



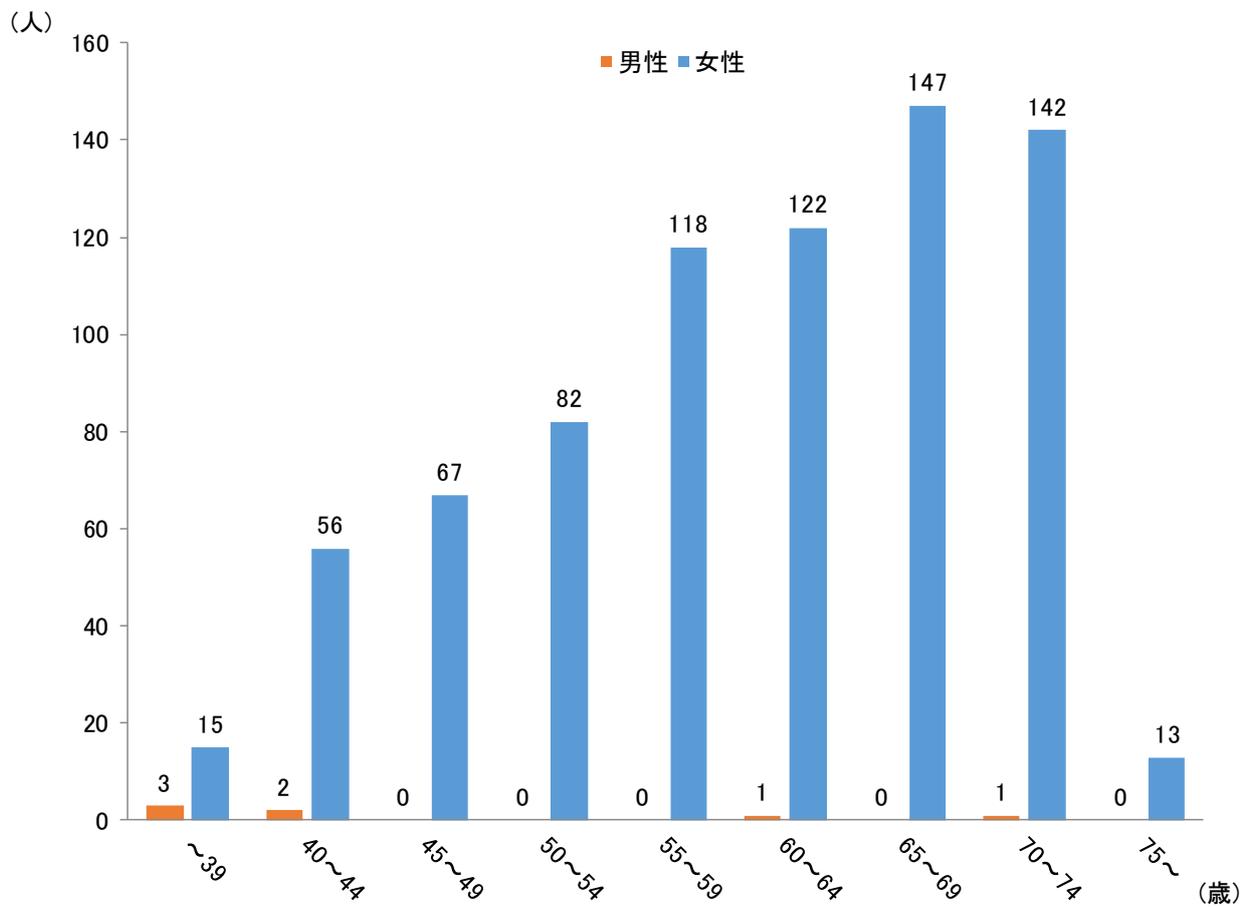
8団体769人が受診し、そのうち、234人（30.4%）が要受診であった。

表2 骨粗しょう症検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	3	2	0	0	0	1	0	1	0	7
女性	15	56	67	82	118	122	147	142	13	762
合計	18	58	67	82	118	123	147	143	13	769

図2 骨粗しょう症検診実施状況(女性:年齢別)

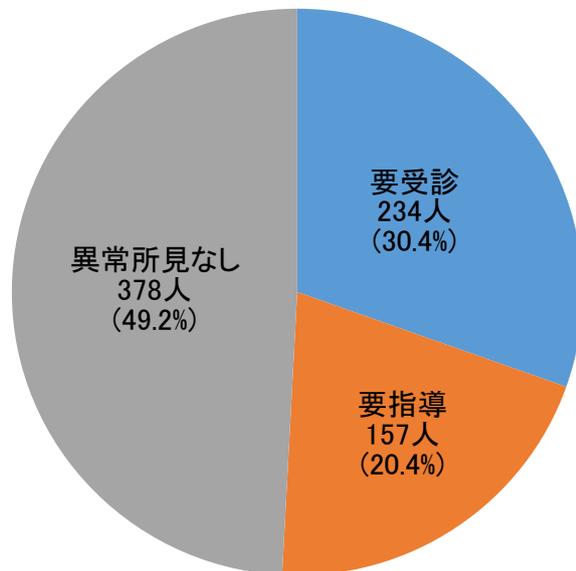


年齢別では、女性で65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に多かった。

表3 骨粗しょう症検査実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見なし	要受診率 (B/A)	1日あたり 受診人数
市町	17	751	234	157	360	31.16%	44.18
内訳	豊郷町	3	187	55	43	29.41%	62.33
	甲良町	3	45	15	9	33.33%	15.00
	多賀町	1	57	21	9	36.84%	57.00
	湖南省	4	321	101	58	31.46%	80.25
	高島市	1	20	9	5	45.00%	20.00
	米原市	5	121	33	33	27.27%	24.20
事業所	4	18	0	0	18	0.00%	0.00
総数	21	769	234	157	378	30.43%	36.62

図3 骨粗しょう症検診実施状況（結果別）

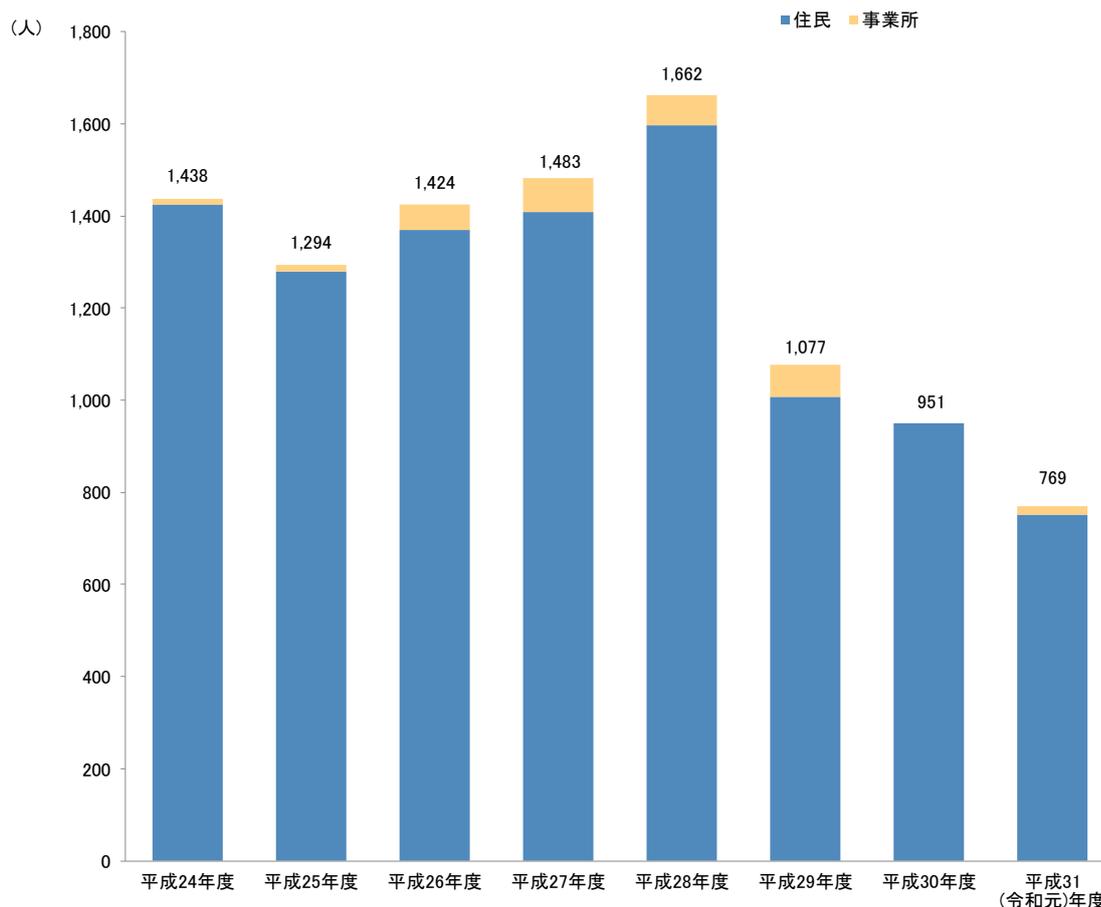


延べ21日にわたり769人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は36.62人であった。

表4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数												
住 民	1,425	7	1,279	7	1,370	7	1,408	8	1,597	8	1,007	7	951	7	751	6
事 業 所	13	1	15	1	54	1	75	1	65	1	70	1	0	0	18	2
合 計	1,438	8	1,294	8	1,424	8	1,483	9	1,662	9	1,077	8	951	7	769	8

図4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較（団体別）



平成24年度から平成25年度にかけては、対象年齢がしぼられるなどの原因により漸減した。
 平成28年度は、1市で受診者数が増えた事により増加したが、平成29年度は、1市の中止により大幅な減少となった。
 その後も、減少傾向が続いており、平成31（令和元）年度においても1市の検査が減ったことにより減少した。

(5) 健診結果分析評価事業

疾病予防や健康づくり等、滋賀県民一人ひとりの健康増進を図るため、財団において所有する各健診（検診）データの結果分析および評価を行い、情報の還元を行った。

平成 31（令和元）年度については、市町が実施する 5 つのがん検診に着目し、要精検率・がん発見率・精検受診率・陽性反応適中度の 4 項目について、統計法のファンネルプロットで集計し、各市町の状況をまとめ、読取の結果とともに市町のがん検診担当者に配布した。

(6) 健康づくり事業

各市町や広く地域で活動されている団体、事業所の依頼に応じ、健康教育や健康づくりなどの出前講座等を実施した。

さらに、滋賀県健康いきいき 21 の実質的な推進母体として活動される滋賀県健康推進員団体連絡協議会に対し、継続的な健康づくり事業の推進のための支援を行った。

①滋賀県健康推進員団体連絡協議会の活動に対する支援

I. 出前講座

i 草津市健康推進員役員研修会

日時 令和 2 年 1 月 21 日(火) 10:30 ～ 11:45
場所 草津市さわやか保健センター
講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦
内容 「脳梗塞に対して備えておくべきこと」
参加者数 草津市健康推進員 25 名

II. 公益財団法人滋賀県健康づくり財団の施設における研修会

i 近江八幡市金田学区健康推進員研修会

日時 令和元年 9 月 25 日(水) 10:00 ～ 12:30
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室
講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦
健康運動指導士 多比良卓志
内容 体力測定、フレイルに関する講話
スタッフ 保健師、管理栄養士
参加者数 14 名

ii 滋賀県健康推進員団体連絡協議会リーダー研修会

日時 令和元年 12 月 6 日(金) 10:00 ～ 12:30
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室
講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦
健康運動指導士 多比良卓志
内容 体力測定、脳梗塞および体力測定に関する講話
スタッフ 保健師 2 名、管理栄養士
参加者数 26 名

iii 栗東市健康推進員連絡協議会ヘルスメイトパワー研修会

日時 令和元年 12 月 19 日(木) 10:00 ～ 12:20
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦
健康運動指導士 多比良卓志

内容 体力測定、睡眠および手軽な運動に関する講話

スタッフ 保健師 2名、管理栄養士

参加者数 11名

iv 守山市中洲学区・速野学区健康推進員研修会

日時 令和2年1月20日(月) 9:45 ~ 12:10

場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦
健康運動指導士 多比良卓志

内容 体力測定、脳梗塞および体力測定に関する講話

スタッフ 保健師、管理栄養士

参加者数 17名

III. 滋賀県健康推進員団体連絡協議会への助成金の交付

滋賀県健康推進員団体連絡協議会との連携を密にしながら、地域への健康づくりの取り組みの拡大を支援するために健康づくり助成金の交付を行った。

交付額 500,000円

i 協議会の主な活動

- ・ 県民の健康づくり事業
- ・ 健康づくり指導者育成事業

②市町・事業所への出前講座等

I. 社会福祉法人ゆたか会での健康講座

社会福祉法人ゆたか会の職員に向けて健康講座を行った。

日時 令和元年8月25日(水) 13:30 ~ 14:30

場所 社会福祉法人ゆたか会

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 健康運動指導士 多比良卓志

内容 「腰痛について」(講義30分、実践30分)

参加者数 40名

II. つづら町元気ふえすたへの参加

彦根市葛籠町の自治会で実施される「元気ふえすた」において健康チェックを実施した。

日時 令和元年10月20日(日) 9:00 ~ 11:30

場所 葛籠町公民館

内容 骨密度測定、血圧測定、握力測定、健康相談

スタッフ 放射線技師、保健師2名

参加者数 約50名

III. 甲賀圏域地域・職域推進研修会「職域におけるがん検診講座」

甲賀圏域の健診(検診)担当者に向けて講演を行った。

日時 令和2年2月25日(火) 14:05 ~ 15:00

場所 甲賀合同庁舎4階 4A会議室

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 専務理事 水田和彦

内容 「職域におけるがん検診に関するマニュアル」の解説
～科学的根拠に基づくがん検診について～

参加者数 約 15 名

③施設内健診受診者への情報提供

施設内健診受診者に対し、健康に関する情報提供として、減塩をテーマにした冊子を作成し、配布した(742名)。

④健康しが企画室の主催する事業への参画

県庁健康寿命推進課健康しが企画室が主催する「健康しが」共創会議に参画した。

I. 第4回「健康しが」共創会議

日時 令和元年7月26日(金) 14:00～16:30

場所 クサツエストピアホテル 瑞祥の間

主題 人こそが最大の経営資源
～働き世代の健康づくりに取り組んで企業も個人もハッピーに～

内容 話題提供、意見交換、交流会

参加者数 58団体 出席者 104名

II. 第6回「健康しが」共創会議

日時 令和元年10月17日(木) 14:00～16:30

場所 トラットリア デラメーラ (草津市)

主題 自分の心と体の状態を知ることからはじめよう！
～主体的な健康づくりを促す仕掛けとまちづくり～

内容 話題提供、意見交換、交流会

参加者数 30団体 出席者 41名

III. 第7回「健康しが」共創会議

日時 令和元年11月14日(木) 14:00～16:30

場所 クサツエストピアホテル 瑞祥の間

主題 女性の健康づくり

内容 基調報告、連携事例発表・意見交換、交流会

参加者数 38団体 出席者 66名

⑤その他

「しがの健康づくりサポーター」および「健康おおつ21応援団」として、財団施設内にステッカーや卓上旗の設置を行った。

- ・しがの健康づくりサポーターステッカー

「禁煙・食生活・運動」

- ・健康おおつ21応援団

「健康寿命を伸ばそう！みんなで取り組む生き生きと笑顔で暮らせる健康な街づくり」

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

- (1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業
- (2) アイバンク事業
- (3) 腎臓バンク事業

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球斡旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

(1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業

滋賀県における臓器移植を推進するため、設置している臓器移植コーディネーターが広く県民に腎臓等臓器移植に関する正しい知識の普及啓発活動を行った。また、医療施設には、臓器提供に対する理解と協力を得て、臓器移植の円滑な実施を図るための体制づくり等について働きかけた。さらに、臓器移植提供者発生時は、円滑な臓器移植を推進するため家族等に対するインフォームドコンセントおよび関係機関等との連絡調整を実施した。

① 普及啓発

I. 地域住民などへの啓発活動

臓器移植キャンペーン事業とアイバンク、腎臓バンク事業の共通事業として、臓器移植普及推進月間（10月）を中心に啓発を行った。

i. 啓発資材等の配布

県内における保健所、市町、運転免許センター等の公共施設窓口にて意思表示カード付リーフレット等の設置や、啓発に協力していただけるよう県内256施設へ啓発資材等を配布した。

ii. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

日時 令和元年10月5日(日) 10:00～13:00

場所 イオンモール草津

内容 臓器移植に関する理解を深め、臓器提供への意思表示の推進および腎臓・角膜・骨髄の提供登録推進のための街頭啓発

配布資材 献眼・献腎登録申込用紙付きリーフレット、啓発グッズ、腎臓提供意思表示カード付きリーフレット等（1,500セット）

iii. 臓器移植希望者（レシピエント）への登録説明 5名（うち登録者4名）

II. 臓器提供に協力いただく施設の医療従事者との連携および体制整備の取り組み

i. 県内の脳死下臓器提供可能施設に設置された院内コーディネーターとの連携を図ることを目的として、院内コーディネーター連絡会（年2回）を開催した。

【第1回】

日時 令和元年6月7日(金) 13:30～16:15

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

内容 臓器提供 ワークショップ in 滋賀

①終末期と臓器提供

②ひとりじゃできない院内Co

③ドナー適応判断

参加者数 34名

【第2回】

日時 令和2年2月7日(金) 14:00～16:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

内容 院内体制整備について（各施設より報告）
臓器提供意思表示について
グループワーキング

- i ドナー情報入手時の院内コーディネーターの初動対応について
- ii 脳死下での眼球提供のみを希望された時の対応について
- iii 承諾書にサインできる家族の範囲について
- iv 未成年者の臓器提供時の対応について

臓器提供施設に関する事項について
臓器提供報告

参加者数 34名

ii. 臓器移植に関する正しい知識の普及啓発および脳死下臓器提供医療機関の体制整備推進を目的として、院内勉強会・院内シミュレーションを実施した。（日本臓器移植ネットワーク都道府県支援事業含む）

・近江八幡市立総合医療センター市民公開講座

日時 令和元年10月6日(日) 13:00～16:00

内容 「臓器移植について学ぼう」

①臓器移植ってななに、②滋賀県と当院の取り組み、③臓器提供の現状、④腎臓移植を受けて

参加者数 約60名

・滋賀医科大学医学部附属病院法的脳死判定シミュレーション

日時 令和元年10月18日(水) 15:00～16:30

内容 症例報告(第563例目脳死下臓器提供について)、脳死下臓器提供者発生・脳死判定までの流れを確認、脳死判定DVD鑑賞、法的脳死判定シミュレーションの実施(心肺蘇生法訓練用シミュレーターを使用)

参加者数 病院関係者 23名

・長浜赤十字病院院内研修会

日時 令和元年11月29日(金) 17:30～19:00

内容 小児の脳死下臓器提供を経験して

参加者数 病院関係職員 78名

・近江八幡市立総合医療センター院内研修会

日時 令和2年1月31日(金) 17:30～19:00

場所 近江八幡市立総合医療センター(よしぶえホール)

内容 小児心臓移植医療の現状と今後の展望

参加者数 病院関係者 44名

iii. 県内の脳死下臓器提供可能施設に所属する医師、看護師等と県の防災・県警の臓器移植担当者を対象に、県内における臓器移植の推進を目的として、臓器提供連絡会を開催した。

・滋賀県臓器提供連絡会

日時 令和元年11月6日(水) 13:00～15:00

場所 彦根市勤労福祉会館(2階研修室)

内容 浦添総合病院での臓器提供への取り組み、当院における死亡調査とオプション提示について、臓器提供時の検視対応、搬送対応について

参加者数 38名

②臓器提供発生時業務

臓器提供発生時には日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携し、臓器提供の円滑な実施に向け、以下の業務を行った。

- I. 臓器提供者の適応を確認するとともに、臓器提供について申し出があった家族に対し説明を行い、意思確認を行った。
- II. 情報発生施設に対して、円滑な実施に向けて説明や調整を行った。臓器摘出に係る検査や搬送の手配および関係機関等への連絡調整を実施した。

○平成 31（令和元）年度臓器提供実績

脳死下臓器提供 0 件（ドナー情報 2 件あったが、臓器提供には至らなかった。）

③症例対応後業務

- I. 遺族に対し、感謝状の贈呈、移植患者の経過報告等を遺族希望に応じて実施した。
- II. 情報提供施設の関係部署へ定期的に移植後の経過・ご家族の様子を報告した。

(2) アイバンク事業

善意の眼球提供により、視力障害者の視力の回復に資するため、眼球提供者の募集・提供登録者の拡大を図るとともに、提供眼球の斡旋を行った。また、県民の献眼に関する正しい知識の普及啓発を行い協力を広げることを目的に、関係機関、関係団体等の支援および協力を得て事業を展開した。

①眼球提供者の募集および登録

眼球の提供登録を推進するため、眼球提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による眼球提供者登録を行った。

平成 31（令和元）年度登録者 64 名

実登録者数 6,346 名

表 1 アイバンク登録者実績表

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 (令和元)年度
登録者数	17	25	40	51	64
実登録者数	6,430	6,394	6,365	6,358	6,346

②眼球の摘出・斡旋

I. 角膜移植待機者の把握

県下の移植医療機関 4 病院における移植待機者数 0 名

II. 眼球の摘出・斡旋

平成 31（令和元）年度斡旋眼球実績

献眼 3 名、摘出眼球 6 眼、斡旋眼球 4 眼

幹旋眼球実績累計（昭和 59 年度～平成 31（令和元）年度分）

献眼	167 名
摘出眼球	322 眼
幹旋眼球	270 眼
幹旋先	151 眼（県内）、119 眼（県外）

③献眼者への感謝状贈呈

提供角膜の移植完了後、提供者宅（遺族）を訪れ、弔意を表し、厚生労働大臣ならびに滋賀県健康づくり財団（腎・アイバンクセンター）理事長の感謝状（額、線香）を贈呈した。

④啓発事業の実施

眼に関する正しい保健衛生思想の普及と眼球の提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10 月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

I. 啓発資料の配布

配布資料 登録申込はがき付リーフレット、啓発用パンフレット（腎・アイバンクだより）等

配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

III. 献眼登録者へ機関紙「腎・アイバンクだより」および「愛の光」の配布

⑤財政基盤の強化等

支援団体であるライオンズクラブとの連携を基に、新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員）	366,000 円（22 件）
寄付金	228,800 円（43 件）
助成金 アイバンク愛の光基金	1,075,870 円
日本アイバンク協会	12,765 円
合 計	1,683,435 円

(3) 腎臓バンク事業

腎不全患者の機能回復に資するため、腎臓移植の推進に向け、死後の腎臓提供者の登録の拡大を図るとともに、県民の腎臓病に関する正しい知識の普及啓発を行い、献腎への理解、協力を求めた。また、腎臓移植希望患者等に対する経費助成を行った。これらの事業にあたっては、日本臓器移植ネットワークとの連携や関係機関、関係団体等の支援および協力を得て推進・展開した。

①死体腎提供者の募集および登録

死体腎の提供登録を推進するため、腎臓提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による腎臓提供者登録を行った。

平成 31（令和元）年度登録者	26 人
実登録者数	3,127 人
移植希望者	64 人（令和元年 12 月 31 日現在）

表1 腎臓バンク登録者実績表

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 (令和元)年度
登録者数	9	9	30	28	26
実登録者数	3,139	3,126	3,122	3,134	3,127
移植希望者数	74	72	65	56	64

②腎臓移植に係る組織適合性検査への助成

I. 腎臓移植希望待機者の組織適合検査に対する助成

平成 31 (令和元) 年度助成実績数 4 件

II. 滋賀県内における死体腎摘出チームおよび死体腎提供施設に対する助成（摘出腎が使用不可能な場合のみ助成）

平成 31 (令和元) 年度助成実績数 0 件

③啓発事業の実施

腎臓病に関する保健衛生思想の普及と腎臓提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

I. 啓発資料の配布

配布資料 登録申込はがき付リーフレット、啓発用パンフレット（腎・アイバンクだより）等

配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

III. 献腎登録者への機関紙「腎・アイバンクだより」の配布

④財政基盤の強化等

賛助会費制度の理解と新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員） 366,000 円（20 件）

寄付金 53,500 円（22 件）

合 計 419,500 円

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を
充実補完する事業

- (1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業
- (2) 母子保健関連推進事業
- (3) 医師会健診データ電子化事業

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業

(1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業

療養所に入所している本県出身者を一時帰省招待するため、本事業を実施した。また、ハンセン病に関する正しい理解と認識を得るため、講演会の開催や、リーフレットによる啓発および現地学習会を実施した。

①一時帰省招待事業

I. 療養所訪問

期間 平成31年4月22日(月)～4月23日(火)
面会者数 2名
訪問先 国立駿河療養所、国立療養所多磨全生園

II. 里帰り

【駿河療養所】

期間 令和元年6月24日(月)
参加者数 3名(介助者2名含む)
主な訪問先 湖南省(昼食、お墓参り)

【邑久光明園】

期間 令和元年12月2日(月)～12月4日(木)(2泊3日)
参加者数 3名(介助者1名含む)
主な訪問先 米原市内(昼食、お墓参り)、長浜市内(ヤンマーミュージアム、昼食)、高島市内(メタセコイヤ並木)ほか

②ハンセン病啓発事業

I. ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会の開催

日時 令和元年12月9日(月)18:00～19:30
場所 長浜市役所
内容 講演「一緒に考えようハンセン病問題」
講師 ハンセン病回復者支援センター 井ノ山奈津子 氏
講演「差別・偏見解消へ あるがままに」「私の体験」
講師 ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 Y.S 氏
対象 長浜市民、その他、参加を希望する者(人権擁護委員、人権擁護推進員、長浜人権学習講師団、民生委員・児童委員、市職員等)
約80名

II. ハンセン病問題に関する現地学習会の開催

日時 令和元年7月31日(水)8:00～18:15
対象 県立総合保健専門学校、県立看護専門学校、県立大学等の学生23名
内容 国立療養所長島愛生園学芸員による講義、歴史館見学、歴史回廊見学(患者収容棧橋、収容所、監房、目白寮、納骨堂)

Ⅲ. ハンセン病啓発用リーフレットの作成および配布

作成数 6,000部

配布先 県内中・高・大学校、県内各市町人権担当課等

(2) 母子保健関連推進事業

①母子健康手帳別冊作成業務事業

妊婦と乳幼児の健康管理・保健指導の充実を図ることを目的に、県下統一の「母子健康手帳別冊」を作成し配布した。

表1 令和2年度分母子健康手帳別冊作成実績表

市町名	母子健康手帳別冊	市町名	母子健康手帳別冊
彦根市	1,050	高島市	370
長浜市	1,100	東近江市	1,150
近江八幡市	750	米原市	350
草津市	1,600	日野町	220
守山市	900	竜王町	85
栗東市	1,100	愛荘町	230
野洲市	515	豊郷町	80
甲賀市	760	甲良町	50
湖南市	520	多賀町	75
		合計	10,905

②妊婦委託健康診査費支払協力事業（市町委託事業）

滋賀県下の市町では、県内に居住し、市町から母子手帳の交付を受けている妊婦を対象に、その健康管理の向上と健康診査の一層の徹底を図るため、市町の委託医療機関において、妊婦の健康診査が実施されている。妊婦一般健康診査については1人につき14回以内とし、超音波検査は1人につき4回としている。その他、血液検査は妊娠初期・中期・後期と検査時期の目安をもうけ、各1回ずつ、子宮頸がん検査・B群溶血性レンサ球菌検査（GBS）・クラミジア検査についても、1人1回としている。新生児聴覚検査は、当年度より13市町で実施している。

また、妊婦がやむを得ない理由により県外の医療機関で妊婦一般健康診査を受けた場合、これらの費用の償還払いが行われている。

当財団では、妊婦委託健康診査事業費等支払業務の円滑な推進のため、市町が医療機関に委託して行う妊婦健康診査費用の請求にかかる請求書受理、仕分、点検および支払事務に関する業務を実施した。

表 1 妊婦委託健康診査事業費等支払業務実績表

(枚)

	基本健診	超音波	血液初期	血液中期	血液後期	子宮頸がん	GBS	クラミジア	新生児聴覚	市町の合計
大津市	30,384	9,497	2,439	2,364	2,093	2,413	2,192	2,401	0	53,783
草津市	14,020	4,279	1,129	1,108	967	1,111	1,045	1,132	0	24,791
守山市	8,915	2,777	719	703	649	706	691	695	602	16,457
栗東市	10,503	3,275	874	832	763	857	802	845	652	19,403
近江八幡市	7,805	2,462	651	598	563	639	601	613	508	14,440
日野町	1,736	537	144	132	127	141	120	127	120	3,184
竜王町	691	214	59	50	47	57	47	51	52	1,268
彦根市	10,406	3,192	829	808	752	815	781	811	0	18,394
豊郷町	567	180	46	45	43	46	44	47	39	1,057
甲良町	367	110	29	26	29	29	31	30	13	664
多賀町	825	258	69	69	59	71	63	70	59	1,543
長浜市	10,154	3,299	861	830	690	859	780	759	0	18,232
湖南市	5,129	1,570	421	398	369	422	368	405	0	9,082
野洲市	5,434	1,712	451	428	404	447	410	408	0	9,694
甲賀市	7,473	2,298	617	591	520	617	509	612	525	13,762
東近江市	10,548	3,436	893	818	736	881	767	856	723	19,658
高島市	1,354	433	118	110	83	116	86	120	83	2,503
米原市	3,001	972	252	234	205	252	224	218	253	5,611
愛荘町	1,854	572	152	145	125	150	133	146	135	3,412
合計	131,166	41,073	10,753	10,289	9,224	10,629	9,694	10,346	3,764	236,938

(3) 医師会健診データ電子化事業（滋賀県医師会委託事業）

厚生労働省では生活習慣病の有病者及び予備群が増加傾向にあることから平成 20 年度に医療制度改革を実施し、医療保険者による特定健康診査、後期高齢者健康診査を開始した。

滋賀県医師会では県内全域の医療機関で特定健康診査、後期高齢者健康診査が受診できるような医療保険者代表者と集合契約を締結した。

しかし、集合契約では各医療機関が独自に支払代行機関への電子化請求、および結果通知表作成を実施する必要があるため、健康診査を実施しない医療機関が増え滋賀県民の受診機会（受診率）が減少することが危惧された。

そのために、平成 20 年度より当財団が電子化請求代行業務、および結果通知表作成業務を受託することになった。そのことにより県内医療機関での特定健康診査（後期高齢者健康診査）が実施可能となり、滋賀県民の受診機会を損なわないようサービスを提供し続けている。

平成 31（令和元）年度は 516 医療機関より 58,482 件の電子化依頼があり、前年より 2,925 件増加した。

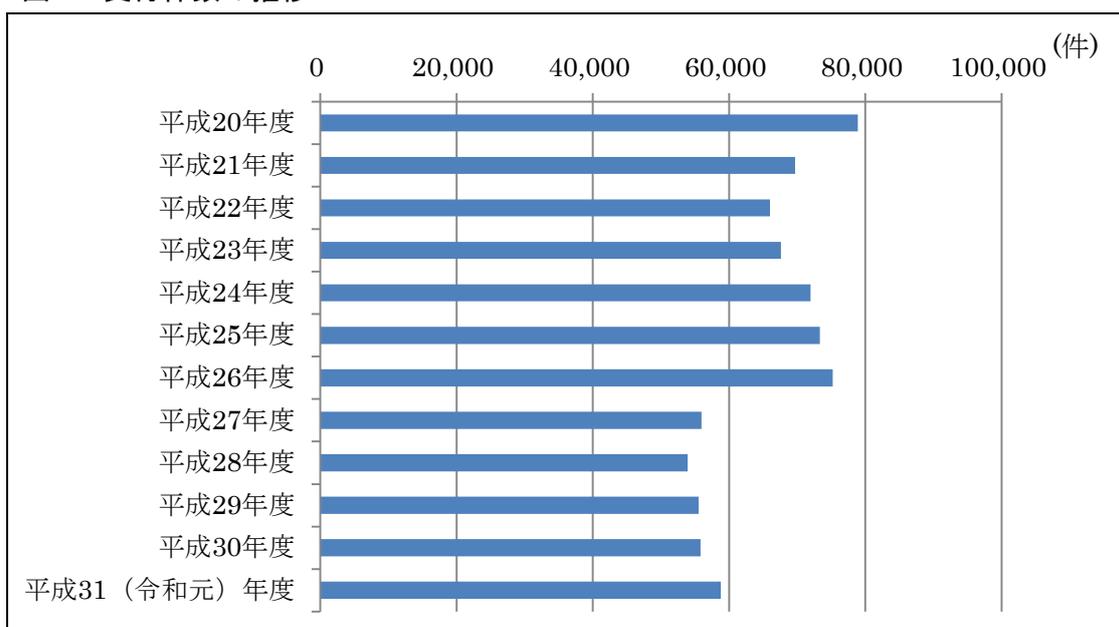
主な業務内容

滋賀県医師会発行「特定健康診査等実施の手引き」の一部原稿作成、校正
 記入用OCR帳票の作成（電子化依頼書・特定健診受診票）
 記入内容のチェック
 結果通知表の作成
 支払代行機関への請求代行
 医療機関からの問い合わせ対応

表1 電子化依頼受付件数(医療機関数)の推移

	受付医療機関数	受付件数
平成20年度	548 機関	78,888 件
平成21年度	546 機関	69,673 件
平成22年度	528 機関	66,005 件
平成23年度	528 機関	67,602 件
平成24年度	520 機関	71,971 件
平成25年度	524 機関	73,333 件
平成26年度	526 機関	75,215 件
平成27年度	525 機関	55,957 件
平成28年度	520 機関	53,931 件
平成29年度	513 機関	55,508 件
平成30年度	518 機関	55,857 件
平成31(令和元)年度	516 機関	58,782 件

図1 受付件数の推移



5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

- (1) 結核予防会滋賀県支部事業
- (2) 日本対がん協会滋賀県支部事業
- (3) 個人情報取り扱いを適切に行う体制整備事業

5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

(1) 結核予防会滋賀県支部事業

財団法人結核予防会が設立されたのは昭和14年5月22日である。当時の結核で死亡する者は10数万人を超え、死亡原因の首位を占めていた。また、死者・患者とも青年層に多く亡国病と呼ばれていた。この状態を深く憂慮された昭和の皇后陛下の令旨によるものである。

滋賀県支部の設立は昭和15年3月26日であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置いていた。昭和55年4月1日に財団法人結核予防会滋賀県支部と滋賀県公衆衛生協会と統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、その事業として結核予防会滋賀県支部事業を行ってきた。

結核予防会本部においては平成22年度、当財団においては平成24年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である結核予防会の支部としての事業を行っている。

①第71回結核予防全国大会（中止）

I. 開催期日

令和2年3月16日(月)～17日(火)

II. 開催場所

静岡県：ホテルセンチュリー静岡

III. 主催

静岡県、公益財団法人結核予防会、公益財団法人静岡県結核予防会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止

②結核予防会近畿ブロック会議

I. 開催期日

令和元年10月18日(金)

II. 開催場所

ホテルクラウンパレス神戸

III. 当番府県

兵庫県（公益財団法人兵庫県健康財団）

③結核予防婦人団体への助成

結核予防婦人団体である公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の滋賀県支部は、滋賀県地域女性団体連合会である。同連合会が結核予防をはじめ、県民の健康づくりの向上を図るために、連絡協議会の年会費や会員が参加する研修等に助成を行っている。

主な研修会等

- ・第24回結核予防関係婦人団体中央講習会（東京都：KKRホテル東京）
- ・第71回結核予防会全国大会（静岡県：ホテルセンチュリー静岡）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止

(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業

がんは昭和 56 年に死亡原因の第一位となり現在に至っている。財団法人滋賀県対ガン協会が設立されたのは昭和 36 年 4 月であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置き、財団法人日本対がん協会滋賀県支部も兼ねていた。昭和 55 年 4 月 1 日に財団法人滋賀県対ガン協会と滋賀県公衆衛生協会と統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、がん征圧推進母体としてがん予防にかかる正しい知識の普及啓発、健診活動を行ってきた。

日本対がん協会本部においては平成 22 年度、当財団においては平成 24 年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である日本対がん協会の支部としての事業を行っている。

①平成 31（令和元）年度がん征圧全国大会

I. 開催期日

令和元年 9 月 12 日(木) ～ 13 日(金)

II. 開催場所

愛媛県：ANA クラウンプラザホテル松山（12 日）、松山市民会館（13 日）

III. 主催

公益財団法人日本対がん協会、愛媛県総合保健協会

IV. 大会テーマ

「がん征圧 愛媛ではぐくむ 心と体」

V. 参加者

国、都道府県、市町村の保健・医療関係者

日本対がん協会各都道府県支部

その他の保健・医療関係者、一般県民など

②日本対がん協会近畿ブロック会議

I. 開催期日

令和元年 10 月 30 日(水)

II. 開催場所

大阪国際がんセンター

III. 当番府県

大阪府（公益財団法人大阪対がん協会）

(3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業

平成 31（令和元）年度は、平成 28 年 9 月から運用を開始している、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の適正な運用のため、従業員の教育・内部監査・PMS の見直しを実施した。

また、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（J I P D E C）が PMS とその運用が適正であることを評価し、その証として付与する「プライバシーマーク」の認定更新にかかる申請を行い、令和 2 年 2 月に更新認証を取得した。

『主な実施内容』

令和元年 8 月	PMS 委員会の開催
令和元年 9 月	従業者への教育実施
令和元年 10 月	プライバシーマーク現地審査
令和 2 年 2 月	内部監査
令和 2 年 3 月	マネジメントレビュー

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

(2) 外部精度管理

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

①細胞診断の精度管理

- ・偽陽性以上検体のダブルチェック
- ・陰性症例 10%をダブルチェック

②X線画像の精度管理

- ・「滋賀県健康づくり財団検診画像検討会」で、外部専門医師（放射線医）が検診画像、読影について評価、検討

③胃がん検診

- ・胃がん検診専門技師認定者（6名）による撮影
- ・胃がん検診専門認定医師認定者（7名）による読影

④乳がん検診

- ・マンモグラフィ技術試験評価での A、B 認定資格者（3名）による撮影
- ・マンモグラフィ読影試験評価での A、B 認定資格者（4名）による二重読影

(2) 外部精度管理

①一般健診（血液・尿等）

- ・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会の精度管理
全ての項目 A 評価

②一般健診（計測）

- ・一般社団法人滋賀県計量協会 特定計量器定期検査

③胸部画像（結核健診・肺がん検診）

- ・結核予防会胸部画像評価会精度管理研究会 画像評価 B 判定（読影に適している）

④胃がん検診

- ・日本対がん協会診療放射線技師研修会画像評価実施（読影に適している）

⑤乳がん検診

- ・公益財団法人日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定を取得

⑥細胞検査（子宮頸がん検診・肺がん検診）

- ・日本臨床細胞学会の精度管理に関わる施設認定を取得
- ・精度管理細胞部会の症例問題フォトサーベイに参加

⑦大腸がん検診

- ・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会の精度管理（便潜血検査）A 評価

7. その他の活動記録

(1) 沿革

(2) 役員会の開催状況

(3) 年間行事

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

(5) 学会等の研究発表

7. その他の活動記録

(1) 沿革

昭和 55 年 4 月 財団法人滋賀県保健衛生協会設立

(財) 結核予防会滋賀県支部 (昭 15 年・設立)、(財) 滋賀県対ガン協会 (昭 34 年・設立) および滋賀県公衆衛生協会 (昭 34 年・設立) の事業を継承する。

昭和 56 年 8 月 事務所を移転 (滋賀県大津市におの浜 4 丁目 4 - 5)

平成 15 年 4 月 財団法人滋賀県健康づくり財団に名称変更

(財) 滋賀県アイバンクと (財) 滋賀県腎臓バンクを (財) 滋賀県健康づくり財団に統合。

平成 24 年 4 月 公益財団法人滋賀県健康づくり財団に移行

平成 27 年 11 月 現在地に事務所を移転 (滋賀県大津市御殿浜 6 番 28 号)

(2) 役員会の開催状況

①理事会(第 39 回：決議の省略)

日時 令和元年 5 月 17 日(金)

回答理事 8 人

回答監事 2 人

議題

- ・議第 1 - 1 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団役員および評議員の候補者について

- ・議第 1 - 2 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団第 20 回評議員会の招集について

②評議員会(第 20 回：決議の省略)

日時 令和元年 5 月 24 日(金)

回答評議員 9 人

議題

- ・議評第 1 - 1 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団評議員の選任について

- ・議評第 1 - 2 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事の選任について

③監査会

日時 令和 2 年 5 月 22 日(木) 13 : 55 ~ 15 : 40

出席監事 2 人

内容 平成 30 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団事業報告(案)について
平成 30 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団決算報告(案)について

その他

④理事会（第40回）

日時 令和元年5月29日(水) 9:56~11:16

出席理事 6人

出席監事 2人

議題

- ・議第1-3号
平成30年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団事業報告(案)について
- ・議第1-4号
平成30年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団決算(案)について
- ・議第1-5号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団第21回評議員会の招集について

⑤評議員会（第21回）

日時 令和元年6月18日(火) 13:55~15:08

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

出席評議員 7人

出席監事 2人

議題

- ・議評第1-3号
平成30年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団決算(案)について

⑥理事会（第41回）

日時 令和2年3月27日(金) 13:50~15:47

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

出席理事 6人

出席監事 2人

議題

- ・議第1-6号
平成31(令和元)年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団収支補正予算(案)について
- ・議第1-7号
平成31(令和元)年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団資金調達及び設備投資の見込み変更(案)について
- ・議第1-8号
令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団事業計画(案)について
- ・議第1-9号
令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団収支予算(案)について
- ・議第1-10号
令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団資金調達及び設備投資の見込み(案)について

- ・議第 1-11 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団職員給与規程の一部改正（案）について
- ・議第 1-12 号
令和 2 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団常勤役員の月額報酬等の額の決定について
- ・議第 1-13 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団事務局長の任免承認について
- ・議第 1-14 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団評議員の候補者について
- ・議第 1-15 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団定款の変更（案）について
- ・議第 1-16 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団第 22 回評議員会の招集について

⑦評議員会（第 22 回：決議の省略）

日時 令和 2 年 3 月 3 1 日（火）

回答評議員 9 人

議題

- ・議評第 1-4 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団評議員の選任について

(3) 年間行事

年 月 日	内 容
平成 31 年 4 月 22 日 ~ 4 月 23 日	ハンセン病療養所訪問（国立駿河療養所、国立療養所多磨全生園）
令和元年 6 月 7 日	第 1 回院内コーディネーター連絡会
令和元年 6 月 24 日	ハンセン病 駿河療養所入所者里帰り
令和元年 7 月 5 日	第 1 回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和元年 7 月 25 日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修 1 日目
令和元年 7 月 26 日	第 4 回「健康しが」共創会議
令和元年 7 月 31 日	ハンセン病問題に関する現地学習会
令和元年 8 月 6 日	がん検診検討会部会長会議
令和元年 8 月 19 日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修 2 日目
令和元年 8 月 25 日	社会福祉法人ゆたか会での健康講座
令和元年 8 月 28 日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修 3 日目
令和元年 8 月 29 日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修 4 日目
令和元年 9 月 3 日	がん対策活動団体情報交換会
令和元年 9 月 19 日	結核予防啓発活動（街頭啓発）
令和元年 9 月 20 日	全国一斉複十字シール運動キャンペーン
令和元年 9 月 25 日	近江八幡市金田学区健康推進員研修会
令和元年 10 月 1 日	がん啓発活動道の駅（藤樹の里安曇川）

令和元年 10 月 5 日	臓器移植普及推進キャンペーン
令和元年 10 月 6 日	近江八幡市立総合医療センター市民公開講座（臓器移植啓発）
令和元年 10 月 12 日 ～ 10 月 13 日	リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが 2019（台風接近により中止）
令和元年 10 月 17 日	第 6 回「健康しが」共創会議
令和元年 10 月 18 日	滋賀医科大学医学部附属病院法の脳死判定シミュレーション
令和元年 10 月 20 日	ピンクリボン湖北主催 がん啓発イベント
令和元年 10 月 20 日	彦根市葛籠町「元気ふえすた」
令和元年 10 月 25 日 ～ 10 月 26 日	アフラック生命保険株式会社主催 がん教室
令和元年 11 月 6 日	滋賀県臓器提供連絡会
令和元年 11 月 14 日	肺がん部会
令和元年 11 月 14 日	第 7 回「健康しが」共創会議
令和元年 11 月 22 日	乳がん部会
令和元年 11 月 29 日	長浜赤十字病院院内研修会（臓器移植）
令和元年 12 月 1 日	がん啓発フォーラム ～高島市 がんについて考える日～
令和元年 12 月 2 日 ～ 12 月 4 日	ハンセン病療養所 邑久光明園入所者里帰り
令和元年 12 月 6 日	滋賀県健康推進員団体連絡協議会リーダー研修会
令和元年 12 月 9 日	ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会
令和元年 12 月 14 日	肺がん検診従事者講習会
令和元年 12 月 17 日	胃がん部会
令和元年 12 月 19 日	栗東市健康推進員連絡協議会ヘルスメイトパワー研修会
令和 2 年 1 月 20 日	守山市中洲学区・速野学区健康推進員研修会
令和 2 年 1 月 21 日	子宮頸がん部会
令和 2 年 1 月 21 日	草津市健康推進員役員研修会
令和 2 年 1 月 30 日	大腸がん部会
令和 2 年 1 月 31 日	近江八幡市立総合医療センター院内研修会（臓器移植）
令和 2 年 2 月 7 日	第 2 回院内コーディネーター連絡会
令和 2 年 2 月 22 日	子宮頸がん検診従事者講習会
令和 2 年 2 月 22 日	第 50 回滋賀県公衆衛生学会
令和 2 年 2 月 25 日	甲賀圏域地域・職域推進研修会「職域におけるがん検診講座」
令和 2 年 3 月 2 日	滋賀県がん対策推進運動実行委員会第 2 回実行委員会（中止）
令和 2 年 3 月 7 日	乳がん検診従事者講習会（中止）
令和 2 年 3 月 7 日	第 2 回肺がん検診従事者講習会（中止）
令和 2 年 3 月 10 日	結核予防事業協賛秩父宮妃記念杯における啓発活動（中止）
令和 2 年 3 月 28 日	消化器（胃）がん検診従事者講習会（中止）
令和 2 年 3 月 28 日	乳がん検診マンモグラフィ読影研修会（中止）

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

年 月 日	内 容
令和元年 5月 14日	令和元年度滋賀県健康推進員団体連絡協議会 定期総会
令和元年 5月 20日	がん検診指導者講習会
令和元年 5月 29日	滋賀県糖尿病性腎症重症化予防対策推進研修会
令和元年 6月 7日	第 60 回日本臨床細胞学会総会 春季大会
令和元年 6月 11日	滋賀県職業能力開発協会 第 40 回通常総会・記念式典
令和元年 6月 12日	滋賀県国保・保健事業担当課（係）長・保健師合同研修会
令和元年 6月 12日	2019 年度全国都道府県コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）
令和元年 7月 2日	日本対がん協会事務局長会議
令和元年 7月 8日	長浜市乳がん検診精度管理委員会
令和元年 7月 18日 ～ 7月 19日	2019 年度第 1 回 B 級コーディネーター研修会（日本臓器移植ネットワーク）
令和元年 7月 23日 ～ 7月 24日	結核予防会 結核予防技術者地区別（近畿ブロック）講習会
令和元年 7月 26日	第 42 回全国アイバンク連絡協議会（日本アイバンク協会）
令和元年 8月 24日	日本消化器がん検診学会近畿地方会 第 29 回保健衛生研修会
令和元年 9月 11日	湖南省乳がん検診に関する検討会議
令和元年 9月 12日 ～ 13日	平成 31（令和元）年度がん征圧全国大会
令和元年 10月 1日	滋賀県保険者協議会 令和元年度 生活習慣病予防対策推進研修会
令和元年 10月 18日	結核予防会近畿ブロック会議（兵庫県）
令和元年 10月 26日 ～ 10月 27日	日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会（ピアザ淡海）
令和元年 10月 30日	日本対がん協会近畿ブロック会議（大阪府）
令和元年 10月 31日	草津市肺がん検診精度管理委員会（草津市）
令和元年 11月 8日～11月 9日	第 29 回日本乳癌検診学会（福井市）
令和元年 11月 14日	2019 年度第 2 回 B 級コーディネーター研修会（日本臓器移植ネットワーク）（東京都）
令和元年 11月 16日	第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会（岡山県）
令和元年 11月 28日	全国都道府県コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）（東京都）
令和元年 11月 29日	滋賀県肝疾患診療連携拠点病院 技術支援セミナー（滋賀県）
令和元年 12月 3日	滋賀県病院協会 令和元年度 院内感染防止対策研修会（滋賀県）
令和元年 12月 19日 ～ 12月 20日	結核予防会胸部画像精度管理研究会（東京都）
令和 2年 1月 8日	ブロックミーティング（日本臓器移植ネットワーク）（大阪府）
令和 2年 1月 17日	全国健康保険協会 滋賀支部 保健指導スキルアップ研修会（滋賀県）
令和 2年 1月 22日 ～ 1月 23日	都道府県臓器移植コーディネーター研修会（日本臓器移植ネットワーク）（東京都）
令和 2年 2月 6日	全国健康保険協会 滋賀支部 生活習慣病予防健診等実施機関事務説明会（滋賀県）
令和 2年 2月 1日	第 38 回アイバンクワークショップセミナー（日本アイバンク協会）（東京都）
令和 2年 2月 2 2日	第 43 回日本消化器がん検診学会 近畿支部放射線研修会（大阪府）
令和 2年 3月 16日 ～ 17日	第 71 回結核予防全国大会（中止）

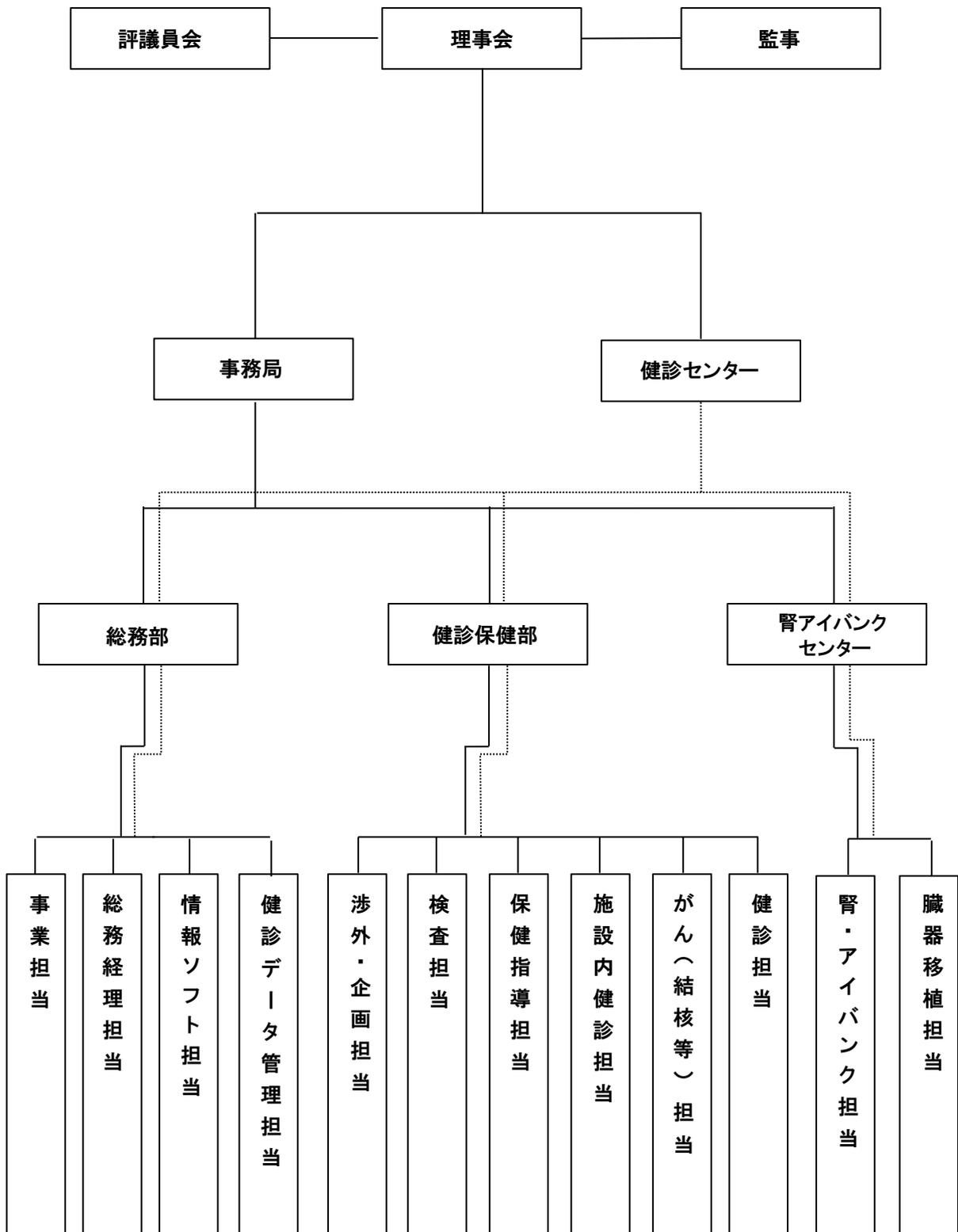
8. 組織、役員名簿

(1) 組織

(2) 役員名簿

8. 組織、役員名簿

(1) 組織



(2) 役員名簿

平成31（令和元）年度

役員の別	氏名	就任年月日	備考
理事長	中 井 清	平成30年4月1日	
副理事長	越 智 眞 一	平成30年5月9日	
専務理事	水 田 和 彦	平成29年4月1日	
常務理事	北 條 良 二	平成28年4月1日	令和2年3月31日退任
理事	川 崎 辰 己	平成30年4月1日	
理事	山 仲 善 彰	平成30年6月14日	令和元年5月23日退任
理事	岩 永 裕 貴	令和元年5月24日	
理事	石 川 浩 三	平成26年6月5日	
理事	野 村 京 子	平成26年6月5日	
評議員	小 林 靖 英	平成30年5月2日	令和2年3月31日退任
評議員	伊 藤 定 勉	平成26年1月31日	
評議員	小 西 眞	平成30年5月2日	
評議員	荒 木 勇 雄	平成30年6月14日	
評議員	白 子 京 弥	平成29年6月13日	令和元年5月23日退任
評議員	平 尾 勝 代	令和元年5月24日	
評議員	古 山 忠 宏	平成30年6月14日	
評議員	岩 井 宗 男	平成28年6月14日	
評議員	宇 田 洋 三	平成24年4月1日	
評議員	青 木 隆 三	平成26年7月30日	
監事	円 水 成 行	平成24年4月1日	
監事	徳 永 博 史	平成24年4月1日	

平成 31（令和元）年度 事業年報

発行日：令和 3 年 2 月

発行者：公益財団法人滋賀県健康づくり財団

〒520-0834 大津市御殿浜 6 番 28 号

TEL：077-536-5210（代）

FAX：077-536-5211